

「施設の基本的な管理運営方針」

質問項目	長久手古戦場記念館等の設置目的を踏まえ、どのような管理運営を行っていくか基本的な考え方を記入してください（管理運営方針、理念等）
------	--

【 目指す姿 】

－ 歴史を守り、学びを深め、未来へつなぐ フィールドミュージアム拠点、そしてシンボル・コアへ －

地域で守り継がれてきた ここ長久手古戦場で、 時代を越えて歴史を感じ、世代を超えて人々が集い 語り継いでいく歴史観光拠点

当社は、本施設の管理運営にあたり、上記のように目指す姿を明確にし、国指定史跡である長久手古戦場の保護及びその歴史的価値に関する情報の発信を図り、学術及び文化の発展に寄与することを目指します。

この実現に向けては、施設の設置目的、「第6次長久手市総合計画(ながくて未来図)」「第3期長久手市まち・ひと・しごと創生総合戦略」「第2次長久手市観光交流基本計画」をはじめとした貴市の考えをしっかりと理解したうえで、本施設に期待される役割、課題を貴市と共有し、目指す将来像「**幸せが実感できる共生のまち長久手 ～そして、物語が生まれる～**」に貢献するよう、下記の4つの基本方針に則り運営してまいります。

図表 3-2-1 基本方針を策定する上での要素

設置目的	古戦場公園再整備基本計画	第6次長久手市総合計画	施設特性・課題等
国により指定された史跡である長久手古戦場の保護及びその歴史的価値に関する情報の発信を図り、学術及び文化の発展に寄与する	<ul style="list-style-type: none"> 日本史上において重要な位置づけがなされるべきその歴史的価値を見出し、野戦地であった当時の合戦の有様を、訪れる人に思い描いてもらう 長久手の歴史をキーワードとした交流の場として蘇らせ、長久手市の魅力を発揮し、観光振興につなげる 	<p>【 将来像 】</p> <p>幸せが実感できる共生のまち長久手 ～そして、物語が生まれる～</p> <p>【基本目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 「やってみたい」でつながるまち 子どもが元気に育つまち みんなで未来へつなぐ緑はまちの宝物 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち いつでも どこでも 誰とでも広がる交流の輪 あえて歩いてみたくなるまち 市民から信頼される市政の運営 	<ul style="list-style-type: none"> 施設内の展示にとどまらず、市内の史跡地等を巡るフィールドミュージアム計画を展開 長久手市の歴史や伝統文化を保存継承・研究し、貴市と協力し祭事や講座等を開催してきた市民団体と協力した運営が重要 継続的な集客を得るための展覧会や有料施設としての集客・イベントの工夫が必要 駐車台数が限られるため、路上駐車防止や渋滞対策が必要

1 古戦場の保護及び情報の発信を図り、学術・文化の発展に寄与することの考え方

方針①【保存・活用】

市内外の団体・施設等と連携・共生しながら、歴史を守り 学びを深め、さらにその魅力を高めるべく、「保存」と「活用」の両立を図ります

- 国内で3件しかない貴重な国指定史跡の古戦場として現在に受け継がれた史跡の価値を、学芸員が中心となり「保存」しつつ積極的に「活用」することで、学びを深める機会を創ります。
- そのうえで、市民や地域団体・各機関と一緒に、豊富な地域資源と組み合わせることで、世代や国籍を越えて多くの人に足を運んでもらい、持続的に本施設の価値を広めていきます。



(具体的な方策)

- ▶ **中世日本史専攻の学芸員を配置し、外部団体・機関や他館との連携を図ることで、展示・収蔵品の適切な「保存」と「活用」を図る**
- ▶ **「考える」展示(パブリックヒストリー)を念頭に、常設展示の入替や企画展示・講演会を定期開催し、継続的に「学び」を深める機会づくり**
- ▶ **貴市及び史跡に関わる様々な団体等と連携した展示ガイドや多層的なフィールドミュージアム事業に加え、教育機関等へのアウトリーチ活動による教育普及を推進**

「施設の基本的な管理運営方針」

方針②【つながり・継承】

年齢や国籍等に関わらず、多くの人々が集まり にぎわい、古戦場・郷土との「つながり」を見つけることで、未来へ語り継ぐための「愛着」を育みます

- 歴史・史跡を次世代へ継承していくためには、歴史への興味関心の有無や老若男女等を問わず、一人ひとりが「自分にとっての」古戦場とのつながりを持ち続けることで生まれる「愛着」が大切だと考えます。
- 学びを深める展示の企画等に加え、馴染みの薄い住民が気軽に訪れ、歴史や郷土に自ずと触れ、日常の一部として溶け込んでいくよう、多様なコンテンツを提供します。
- 集客力のある施設との連携や複数のチャネルを用いた情報発信により、幅広い層に対して古戦場の認知・理解の向上を図るとともに、古戦場の価値を更に高め、継承につなげます。

(具体的な方策)



- ▶ 地域の各団体様と連携しながら、古戦場・郷土とのつながり形成のためのイベント・ワークショップを複合的に実施
- ▶ **何度も足を運びたいくなるような施策**実施(展示コンテンツの更新、日常利用を促す施策)
- ▶ []による、客層の多様化・集客力の向上
- ▶ 世代・国籍・関心度に応じた効果的な情報発信 (SNSフォロワー活用、インバウンド向け発信等)

方針③【リリモテラス・2号公園との連携】

リリモテラス等を運営している強み(地域コネクション・立地の優位性)を活かし体制・事業の両面で効率的な運営と、魅力的な駅前交流環境を創造します

- 当社は2024年4月より、リリモテラス公益施設及び長久手中央2号公園の指定管理者として様々な市民団体・住民の皆さまとともに住民同士のつながりを生み、にぎわいを創っています。
- そこで生まれたつながりに加え、管理運営するメリットを生かし、駅前エリアを「面」として捉えることで、つながりを更に広げ、本施設の課題解消と更なる価値向上を図ります。

(具体的な方策)



- ▶ 相互送客・にぎわい創出のために、[]を含めた三位一体の運営(リリモテラスで築いた地域とのつながりを活かした長久手流の観光スタイルへの寄与)
- ▶ 古戦場駅前エリアが一体となり、**地域とともに創る**魅力的な駅前空間を象徴する**年1回の新たな目玉イベント**の立上げ
- ▶ 本施設の抱える課題解決に寄与する、両館の相互協力
 - ・土産物販売のアンテナショップを、リリモテラスに開設
 - ・リリモテラスで築いたイオンモール長久手様との信頼関係を基にした駐車場不足の解消策

方針④【維持管理】

歴史的に価値のある収蔵・展示品を有し、来訪者を迎える観光拠点として相応しい、だれもが安全・安心・快適に利用できる運営を約束します

- 利用者の「安全確保」を最重要使命とし、未然防止を徹底した安全管理を実行します。
- 学芸員や専門会社と連携した収蔵品の適正な保存、管理に加え、市の中心地としてふさわしい観光拠点として、高いレベルの接遇・維持管理を行います。
- 隣接するリリモテラス等に加え、本社や他の類似施設からの専門的かつ実効性のあるサポートを現地現物で行うことで、利用者の満足度向上を図ります。

(具体的な方策)



- ▶ 本施設の管理運営に係る職員を対象とした安全活動の徹底と風土づくり
- ▶ **中世日本史専門の学芸員・専門会社と連携**した収蔵品の適正保存、管理
- ▶ 当社が運営する**観光ミュージアム施設(トヨタ博物館、トヨタ産業技術記念館)**で培った**接遇・維持管理等のノウハウ横展**により、市の中心地・観光施設として相応しい運営を実現
- ▶ 近隣拠点及び本社の各専門部署による、応受援・専門性に関するバックアップ体制

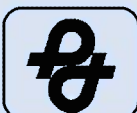


「施設の基本的な管理運営方針」

基本方針の実現のベースとなる6つの管理・運営指針

公の施設を支える一員として

- 世の中の変化とともに求められる行政サービスが多様化している中、指定管理者に求められる仕事、役割も刻々と変化するものと考えます。
- こうした中だからこそ、当社は **“施設をより良くしたい”** という情熱で、**自らを変化・進化** させることをモットーとします。
- 全職員は、このモットーとともに **公共意識を強く持ち**、下記の運営指針に沿って行動します。

図表 3-2-2 管理・運営指針

 <p>公平性・平等を確保した管理運営 公平・公正・不偏な立場で管理運営をします。だれもが利用しやすく開かれた施設であるためのサービスを提供するとともに、透明性の高い運営に努めます。</p>	 <p>施設の効用を最大限に発揮 本施設が保有している能力を最大限に活用します。施設の特性を理解し、かつ効用を最大限に活かした事業展開と魅力の発信に努めます。</p>
 <p>行政と連携した管理運営 長久手市教育委員会様及び長久手市くらし文化部生涯学習課様をはじめ関係部署様との情報共有に努め、市の各種計画・指針に則った管理運営を徹底します。</p>	 <p>コスト削減を可能にする管理運営 安全・安心及び地域還元を担保したうえでコスト削減を図る取組を進めます。費用対効果を常に評価するとともに他運営施設の成功事例を横展開します。</p>
 <p>環境に配慮した管理運営 持続可能な社会に向けて環境配慮は私たちが果たすべき責任と考えます。「長久手市緑の基本計画」に基づき環境負荷の低減と資源の有効活用を努めます。</p>	 <p>関係法令を遵守した管理運営 法令、条例や仕様書に基づいた管理運営をします。専門分野、労働安全衛生等確実に遵守がなされているか本社の専門部署と都度協議し活動します。</p>

(2) 小牧・長久手の戦いに関する資料の展示等の考え方

利用者が五感で感じ、展示物との対話を通じた「考える」展示手法とします

基本的な考え方

- 本施設の設置目的を踏まえ、古戦場及び各史跡の歴史や国指定に至った背景を掘り下げつつ、様々な立場の人の来館を想定して後世に「語り継ぐ」ことに重点をおいた展示等を行います。
- 展示にあたっては、合戦の全容を伝えるだけでなく展示を通じた **「学び」の要素を重視** し、史跡に関する学術的な視点や調査結果等を取り入れながら丁寧に伝えるものとします。
- 博物館側の解釈を並べる従来の「教える」展示でなく、利用者が「考える」 **“パブリックヒストリー”** の考え方を取り入れた **展示手法** とし、利用者と展示物との対話につなげます。
- 国史跡指定として認定された理由からも、再開発が進む当地域で、古戦場及び点在する史跡が **「戦場の地形が現代まで良好に残っている」という点で極めて貴重** であると理解しています。
- この価値を理解・実感してもらうために、既設のプロジェクションマッピングや「長久手合戦図屏風」等のコンテンツを通じたフィールドミュージアムを前提とした館内展示とすることで、**史跡を訪ねて当時の地形・距離感を体感し、利用者に立体的な学びの場を提供** します。
- 古戦場や郷土史に関する最新の学術情報や専門性の高い各市民団体・機関の意見も展示に反映させることで、質の高い展示とし本施設の信頼性向上を両立させます。

学芸員の役割について

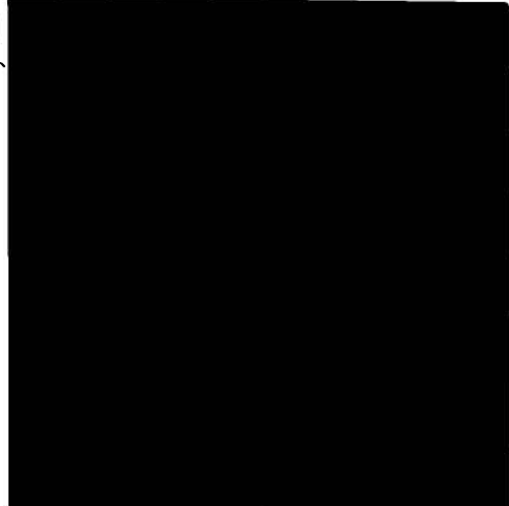
- 展示品等の管理にあたっては、当社学芸員を中心に外部機関の協力を得て、法令及び貴市の意向に則り適切に管理します。
- 展示内容の検討にあたっては、当社学芸員が中心となり、XXXXXXXXXX や XXXXXXXXXX 等の関係機関と連携しながら進めます。

「施設の基本的な管理運営方針」

常設展示について

- 展示にあたっては、学芸員を中心としつつ [redacted] の協力を得て、各収蔵品の特性を踏まえた最適な展示手法とします。
- 展示物は、**リピーター創出（＝収蔵品の「活用」）**と、**展示物の劣化防止（＝収蔵品の「保護」）**の両面から、年2回 収蔵品の入替を行います。
- 展示解説にあたっては、収蔵品の点数に限りがあることを逆手にとり、**収蔵物から関連する事象や人物等を多角的に解説しながら周辺知識等についても触れる展示**とすることで、新たな学びを得て、記憶に残るような切り口での展示を行います。
- 本施設の目玉コンテンツの一つ「長久手合戦図屏風」の展示にあたっては、屏風の細部まで見て想像をかきたてるよう、ルーベやオペラグラス等の設置を検討します。
- 利用者の学びをより深めるために、学芸員や受付・案内職員に加え、[redacted] に協力いただき展示ガイドを配置します。

図表 3-2-3 多角的な切り口の展示イメージ



企画展示について

- 企画展示は、学芸員を中心に研究の成果や未公開資料などを一般に公開し、特定のテーマに基づいて深掘りをすることから、利用者に新しい知見やより深い学びを提供できるという意味で、博物館の価値を持続的に高め、広めるために重要な役割を果たすと考えます。
- また、時代や社会のニーズに応じて柔軟にテーマを変えながら、博物館と利用者との接点を豊かにすることを念頭に、大河ドラマ等、世間の潮流に沿った話題性のある企画展示を検討することで、幅広い層から注目を集め、集客力向上につなげる視点も持ちながらテーマを検討します。
- 展示内容は、パネル展示のみならず、**非公開の収蔵品**や**他館との連携企画（交換展示・共同展示等）**も行うことで、施設の魅力向上や継続的な集客を図ります。（詳細は P. 23 様式 3-5 参照）
- 実際に、今回の提案にあたり複数の施設へ訪問し、収蔵品貸出・資料提供等への協力を確認しました。
- 指定管理者として選定いただいた場合には、速やかに貴市と相談し実施計画を策定します。
- 企画展示にあたっては、展示内容と連動した講演会やトークセッション、ワークショップ等も併せて開催することで、学びをより深める工夫をするほか、貴市の意向を伺いながら貴市学芸員による調査・研究の成果も含めてテーマを検討します。

今後の展示拡張について

- 今後、利用者が計画値を上回る等して計画を超える収益が生じた場合は、貴市と協議のうえ館内設備や展示物の拡充を図ります。



(3) 教育普及事業についての考え方

関係団体との連携・積極的なアウトリーチにより、幅広い層に向けた教育普及を図ります


基本的な考え方

- 本施設は、古戦場や史跡の歴史・価値を発信する歴史観光拠点でありながら、人々が歴史等との接点を持ち学びを深める**「社会教育施設」であることを念頭に置いた事業運営**が重要と考えます。
- 長久手古戦場が国指定史跡となった理由やその本質的な価値を普及するために、館内の展示閲覧からフィールドミュージアム事業への導線づくりを強く意識し、[redacted] を中心に各団体との連携を図ります。
- また、広域にわたり複数の衝突が繰り返された小牧・長久手の戦いの全容とその価値を普及するためには、市内外の様々な団体・施設・教育機関等との連携が必要不可欠となるため、本施設側から外部へ積極的に向き連携（アウトリーチ）を図ることで教育普及の礎を整えます。




「施設の基本的な管理運営方針」

- 待ちの姿勢でなく、本施設が主体的に人々との接点をつくる「アウトリーチ活動」を多面的に進める“攻めの運営”により、本施設の認知を高め、歴史・価値を広く普及します。
- 加えて、地上1階部分及び芝生広場等をうまく活用してワークショップ等を行うことで、歴史に馴染みの薄い方にとっても、自然と“本施設との接点”と“学びのきっかけ”をつくります。


館内の取組・導線づくり

- 利用者に対する教育普及のために、前述の常設展示・企画展示を工夫するとともに、と連携した館内ガイドを実施します。
- ミュージアム施設で課題として挙げられる広報PRについては、当社の豊富なネットワーク・実績を活かしたイベント開催と、SNS発信・キャンペーンをうまく組み合わせることで、利用者との継続的な接点づくりと効果的な情報発信を行います。（詳細はP.20 様式3-5 参照）
- **リモテラスと本施設の二館一体**となった運営により、それぞれの強みを活かしたシナジー効果を発揮します。
- 例えば、幅広い人々が行き交う**リモテラスを入口**として展示の導入部や問いを設置し、本施設側に詳細な内容や回答を示すことで、**本施設へ送客するような導線**をつくります。


フィールドミュージアム事業の展開

- 館内で得た学びをもとに実際の史跡をめぐることで、小丘陵の連なりと河川流域の湿地地帯で発生した戦いであったことを体感し、学びの定着と史跡価値を再認識するきっかけとします。
- 本施設の整備により利用者の多様化が予想されるため、や、地域の大学、関係機関等と連携し、様々なニーズに合わせてフィールドミュージアムマップや周遊コースの多様化を図ります。（詳細はP.60 様式3-15 参照）



古戦場と馴染みの薄い層・若年層に対する取組

- 「イベント・ワークショップの活用」と「アウトリーチ活動」の両輪で、歴史に自然と触れる機会を創出します。（詳細はP.26 様式3-6 および 様式任意、P.65 様式任意参照）
- 具体的には、にぎわい創出のイベントを年3回開催するとともに、「親子向けの歴史ワークショップ」の通年開催、

学校教育に関連付けながら歴史・地域に触れる機会をつくります。

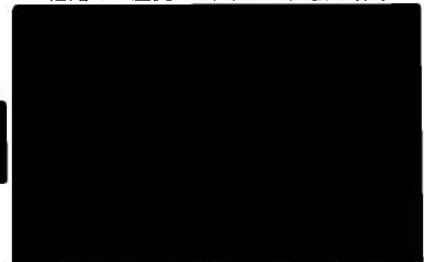
- アウトリーチ活動の一つとして、当社学芸員が市内の小中学校等へ出向いてなど、「歴史」への興味関心の入り口となる出張授業を貴市と協議のうえ検討します。
- 加えて、近隣の小中学校の課外学習・遠足先・職場体験・博物館実習の場として選抜いただけるよう貴市と相談のうえ、近隣の学校教育機関に対して働きかけることで、本施設の機能を教育現場に還元し、学生が歴史に直接触れて学ぶ場を提供します。
- また、集客力のある他施設との連携により、幅広い方々に本施設を認知いただき、その価値を普及していきます。（詳細はP.20 様式3-5 参照）

学芸員等、専門領域に関する普及

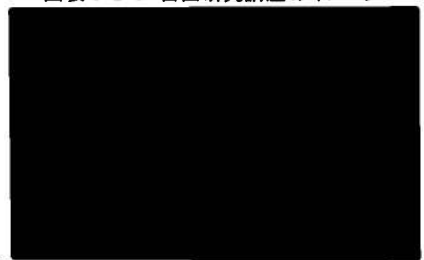
- 調査研究にあたっては貴市と相談のうえ、当社学芸員も収蔵資料を読み解き、関連する他館所蔵の資料・収蔵品をもとに独自に調査研究を行うなど、貴市が行う調査研究に積極的に協力していきます。
- 企画展示や本施設で行う講演会等、当社学芸員の研究成果を公開する場を設けることで、研究成果を外部へ積極的に発信・普及していきます。
- また、開業数年後を目標に、を目指します。
- 関係機関・他館学芸員、研究者等とのネットワークづくりに貢献し、博物館法や文化財保護法等に則り、学生や研究者等に広く開かれた運営をします。

図表 3-2-4

他館での歴史カードゲーム大会の様子



図表 3-2-5 自由研究講座のイメージ



「利用者サービス向上への取組」

質問項目 利用者サービスの向上に対する取組について記入してください。

市民や利用者に寄り添い、住民・利用者本位の観点から利用者満足度の向上につながるサービスを拡充します

提案の
ポイント

- ▶ SNS を積極的に活用することで意見聴取の質と量を向上
- ▶ 地域の皆さまとの信頼関係に基づく渋滞等対策の実施
- ▶ 利用者目線で考えるサービス拡充の方策（館内ガイド・入館チケット等）



1 「ニーズの把握・分析・運営への反映」について

利用者の声はもちろん、未利用者（幅広い市民）の声も積極的に集めます

意見聴取の考え方

- 利用者の声を聞き、それに対し迅速かつ的確に答えることが、利用者満足ひいては施設の設置目的の達成につながると考えます。
- 利用者の声は、偏りが出ないよう幅広く集める手立てを講じることはもちろん、未利用者の声やニーズも広く集め、それをもとに様々な方策に反映させ、利用者満足度の向上を図ります。

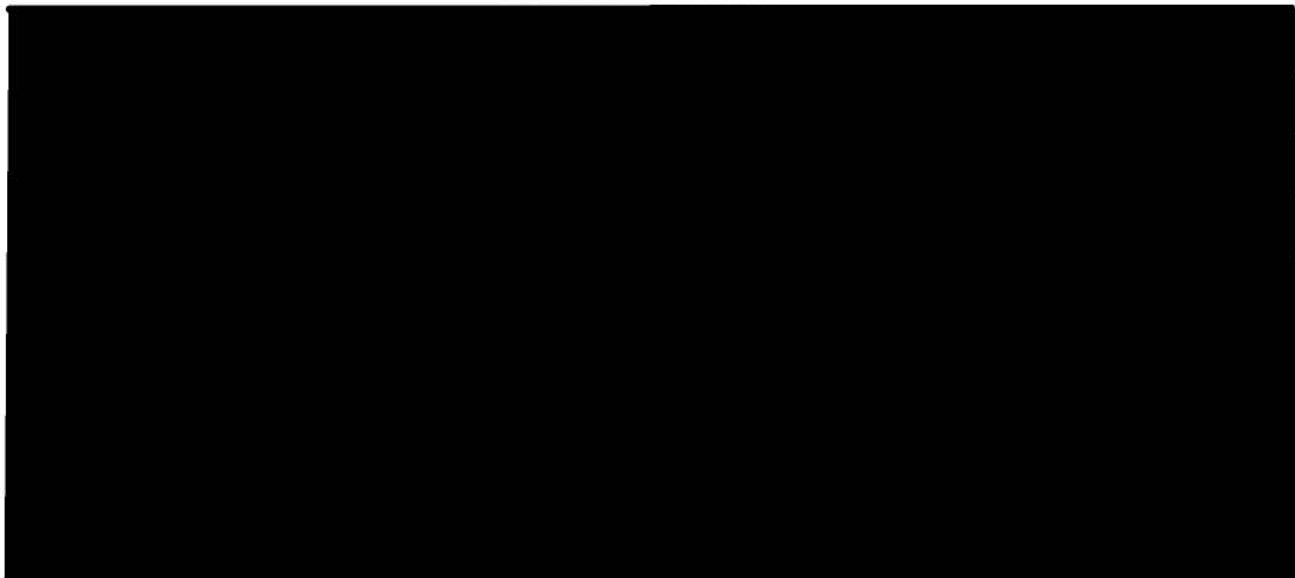
図表 3-4-1 意見聴取の各種取組



SNS を活用した情報発信と双方向コミュニケーション機会の提供

- SNS の様々な機能を活用することで、情報発信のみならず、意見聴取・アンケート収集・サポーターやイベント出展者の募集等を図ります。
- 当社が運営する多くの指定管理施設では、ターゲットや目的に応じて様々な SNS を使い分け、最大限に活用しています。

図表 3-4-2 Instagram の活用策



「利用者サービス向上への取組」



2 トラブルや苦情発生時の対処方法・考え方について

苦情発生時の対応だけでなく、日頃からの取組が重要だと考えます

苦情等への基本的な対応業務フロー

- 苦情は、日常的に不満を感じている利用者がさらなる不満を持った時に発生します。
- 当社では、苦情を危機管理に係る項目として捉えており、**安全管理と同様に三段階に区分**して、確実な実行体制を整えます。

段階 1. 未然防止への取組

- 苦情トラブルの発生率を下げ、苦情を起こさないことを目標にします。

図表 3-4-4 苦情トラブル対応に関する未然防止策

対 策	内 容
マニュアル・手引きの整備	利用者説明マニュアル、苦情問合せ応対マニュアル
研修の実施	実務者研修(接客マナー研修、クレーム対応研修)
セルフモニタリング	業務品質のレベルや利用者からの評価の把握

段階 2. 発生時の取組（結果回避）

- 苦情トラブルを最小化するために、誠意をもった対応を実行します。

図表 3-4-5 苦情トラブル対応の初動

対 策	内 容
正確な内容把握	内容の聞き取り（苦情受付票フォームに従って一次受電者が誠意と責任をもって対応）
迅速な対応	関係者への情報共有・エスカレーション(受電者→責任者→貴市)
	本施設内だけでは対応や判断が難しい事案の場合、本社関係部門と最善策協議

段階 3. 苦情の再発防止


- 真の原因を追求し、対策を講じることで**同様の苦情を再発させない**ことに努めます。

図表 3-4-6 苦情の再発防止への取組

対 策	内 容
記録の作成・共有	報告書の作成(原因と対策) → 業務改善 → 未然防止策へフィードバック
	全職員への情報共有

渋滞対策の取組について



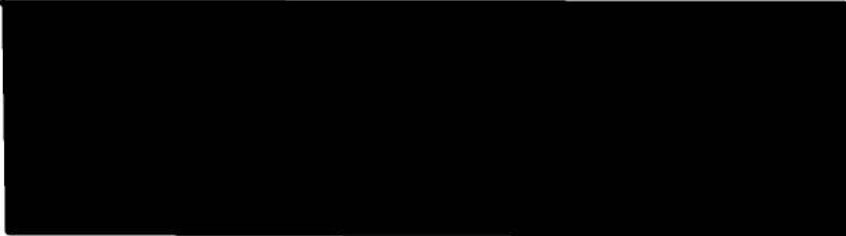
- 本社及び近隣の運営施設（リモテラス・）から、必要に応じて交通誘導等の支援が行える体制を確保しております。
- これにより、イベント時や利用者混雑時にも柔軟かつ迅速な対応を可能とします。

「利用者サービス向上への取組」

3 その他サービス拡充に向けた取組

本施設の現状把握から迅速なサービス向上策を実行します
キャッシュレス決済の利用拡大

- 利用者の利便性向上に加え、現金管理に伴う工数・リスク低減の観点からも、運営開始時からキャッシュレス決済を導入します。



ホームページの制作方針

- 当社は自社内に Web 制作専門部署を有しており、公共施設をはじめとした多数のホームページ制作・運用の実績があります。
- 本施設においても、当社が一貫して制作から運用までを担うことで、利用者にとって分かりやすく、使いやすい情報発信を実現します。
- 展示・イベント・利用案内などの情報をタイムリーに更新するだけでなく、スマートフォンや多言語対応、アクセシビリティにも配慮した設計とします。



利用状況のリアルタイム発信とオンライン予約による利便性向上

- 館内、駐車場の利用状況を、ホームページ上でリアルタイムに閲覧できる仕様とします。
- 野外活動施設の利用方法や施設概要を紹介するページを同ホームページ内に設置し、利用予約も Web 上で完了できる仕様とすることで、利用者の利便性を高めます。

サービスの拡充

- 展示品を鑑賞するにあたり、より細部まで視認しやすくするためのツールとして、ルーペやオペラグラス等を、貸出・設置いたします。
- 地上 1 階、芝生広場での利用者用の環境を整備いたします。
→ 詳細は様式 3-5 参照

コレクション性のあるチケットデザインの導入

- 入館チケットには、**家紋や武具、戦国時代に関連するモチーフなどをあしらい、1 枚ごとに異なるデザイン**とすることで、利用者の収集欲や興味を喚起し、来館そのものを楽しみに変える仕掛けを施します。
- デザインの違いをきっかけに「今回はどの絵柄か」「次は別のものを手に入れたい」といった期待感を生み出し、リピーターの創出、SNS 等での話題拡散を狙います。
- チケットデザインの一部には、

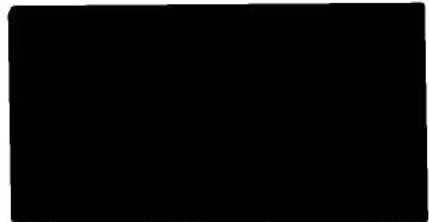
地域との連携強化や若年層の活用による新たな魅力づくりを図ります。

- チケットそのものを**単なる入館証ではなく、来館の記念品として持ち帰りたくなるような「思い出」としての価値を持たせる**ことで展示鑑賞前から利用者の満足度を高める工夫として活用します。

図表 3-4-7 導入済のキャッシュレス決済



図表 3-4-8 デジタルチケット導入



図表 3-4-9 公共施設でのホームページ事例



図表 3-4-10 Web 上の利用状況(イメージ)



図表 3-4-11 ルーペ・オペラグラス



図表 3-4-12
チケットデザイン(イメージ)



「利用促進への取組」

質問項目	利用促進、利用者増に関する目標値について記入するとともに、その具体的な方針や手法について記入してください。 なお、自主事業を実施する予定がある場合には、別の任意の様式にその内容を記入してください。
------	---

ノウハウ・コネクションを最大限に活かし、 歴史観光拠点・日常使いの両面で利用者増を目指します

提案の
ポイント

- ▶ 他類似施設を上回る意欲的な利用者目標値の設定
- ▶ 他施設・企業と連携した効果的な広報・集客策と、展示内容の充実
- ▶ 日常的な来館を促すための自主事業(イベント・環境整備)の実施



1 目標値・方針

時勢を踏まえた展示と他館連携及び効果的な広報 PR により集客増を図ります

目標値の考え方

- 類似施設における利用者数推移を参考に、当社独自の集客向上策を踏まえた目標値とします。
- 目標値の設定にあたっては、**歴史観光拠点としての「有料展示室の利用者数」**に加え、地域住民にとって日常使いのできる場所として古戦場への親しみ・愛着づくりも重視し、地上1階部分を含めた**「無料エリアの利用者」も目標値として設定**します。
- 運営開始後は現地現物で利用促進策と目標値の見直しを図り、さらに実効性を高めます。

図表 様式 3-5-1 本施設の目標値・内訳

(単位：人)

区分	目標値			根拠
	令和8年度 (1年目)	令和9年度 (2年目)	令和10年度 (3年目)	
有料 展示室 (①)	大人	39,100	34,300	類似施設における実績値平均(26,500人/年)をベースに、 当社独自の取組により、更なる集客増を実現 します。 【集客施策】・効果的な広報・PR [redacted] ・ 展示内容の充実(定期的な企画展示等) など → これらの施策により、毎年 右肩上がり集客を目指します。 *ただし、令和8年度は、開館特需及び大河ドラマによる影響で 一時的な増加を見込んだ目標値としました
	小人	7,800	6,800	
		46,900	41,100	50,000
無料エリア (地上1階・芝生広場) (②)		47,000	42,000	50,000
				類似施設における実績値(有料展示の倍程度)をベースに、 以下を加味し設定しています。 (1) 日常利用を促すための自主事業(地上1階エリアの充実)の強化 (2) 駅前エリア一体的な集客イベントの開催による利用者増
合計 (①+②)		93,900	83,100	100,000

利用促進の方針

- 新規オープンの施設であるため、効果的な広報 PR に加え有料展示(初来館・再来館)、無料エリアそれぞれに適した具体的な利用促進策を実施します。

図 3-5-2 利用促進の方針・取組概要

カテゴリー	活動の方向性	主な内容
共通	効果的な広報・PR	・ SNSの活用 [redacted] ・ 近隣施設との送客連携 ・ 旅行代理店との連携、多言語発信 ・ 魅力的な土産物のラインナップ、開発
有料展示室	展示内容の充実	・ 他館との交換展示の積極的な実施 ・ 常設展示の定期入替と、ハンズオン展示
無料エリア	地域住民の 日常使い促進	・ イベント、ワークショップの定期開催 ・ 芝生広場の有効活用 ・ 地上1階エリアの有効活用 [redacted]

「利用促進への取組」

2 目標達成に向けた具体的な手法

1. 効果的な広報・PR

広報の考え方

- 新規オープン施設であることを踏まえ、**まずは幅広い方々に本施設を認知いただくことが重要**だと考え、利用者数目標を達成するために、効果的な SNS プロモーションと、周辺・類似施設との連携を核に、複合的に利用促進策を展開します。
- [] といった施設との協力関係を構築しながら歴史観光拠点として歴史文化の魅力を発信するとともに、地上1階・芝生広場を住民に開かれた空間とすることで、地域に根差した地域住民が日常利用のできる施設とします。

図表 3-5-3

他施設における運営の裏側の SNS 発信事例



SNS を活用した情報発信

- 長久手古戦場記念館の**公式 Instagram アカウントを開設**し、企画展示等、歴史に興味関心のある層に対する情報発信に加え地上1階・芝生広場で実施するイベントやワークショップ等の情報も高い頻度で発信することで、展示エリアを目的としない層に対しても気軽に立ち寄れる場所としての魅力を伝え、来館機会の創出につなげます。
- 投稿には、企画展やイベント開催に向けたプロセス・裏側も取り入れる等、親しみやすい印象付けを意識するほか、将来的には双方向のやりとりを通じたフォロワーとの関係性を育み、記念館の“ファンづくり”へとつなげていきます。
- []
- フォロワー増加により、今後継続的に多くの方々に向けて企画展・イベント等の情報を届けるコネクションを形成し集客力向上につなげます。

他施設からの誘客促進

- 近隣及び類似施設と連携した広告物（チラシ・パンフレット等）を相互配架することで、各施設の利用者に本施設の情報を自然な形で届け、新規利用者への認知向上につなげます。
- 提案にあたり、[] 市内外の宿泊施設等から**告知物配架のご了承**をいただけており、開業後速やかな連携を進めます。
- また、近隣の集客施設のうち [] には多くの来場者がおり、特に本施設とは利用者層が異なることから、**歴史に馴染みのない層に古戦場等を知っていただく“きっかけ”づくり**のための連携の可能性を模索していきます。
- [] とは**送客面での連携協力について前向きなお返事**をいただいているほか、駅前エリア一体の大型イベントへの協力等についても協議を進めてまいります。
- 当社が指定管理者として管理運営するリノモテラスでは、貴市ご協力のもとジブリパーク主催のスタンプラリーのポイント（地点）を設置する等で連携させていただきました。
- 今回の提案にあたり、[] へ訪問し担当者と意見交換を行い、当社が指定管理者として選定された場合には、貴市と足並みを合わせながら今後の連携等について相談してまいります。

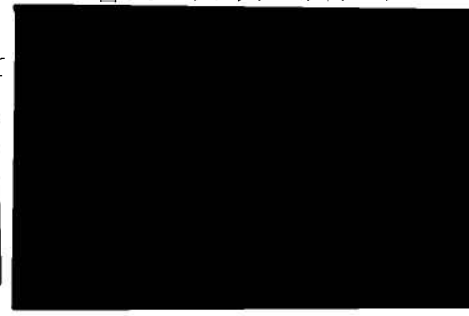
外国人観光客をターゲットとした取組

- 古戦場の歴史や郷土史等に触れることのできる施設として、本施設は外国人観光客との親和性が高いため様々な形でアプローチを図ります。

図 3-5-4 プレツァーのイメージ

(1) 情報発信の強化

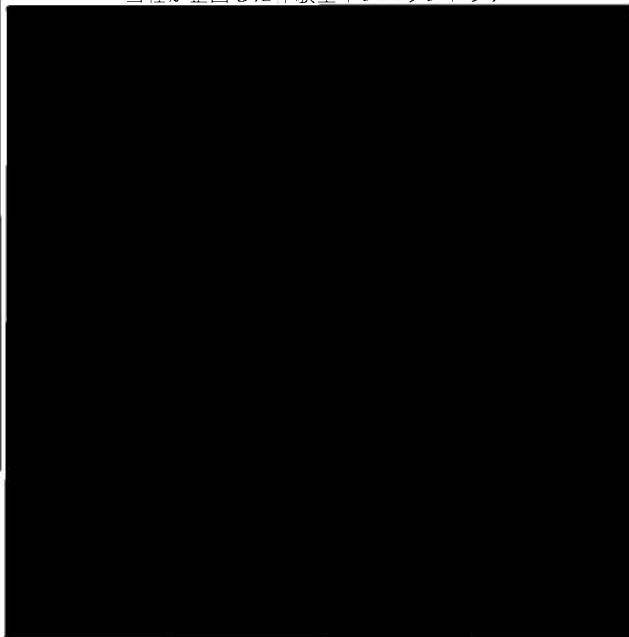
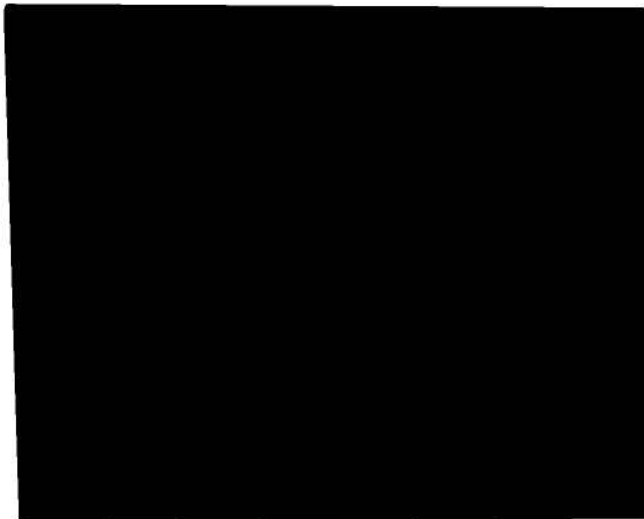
- ・ Instagram や YouTube 等 SNS を活用し、写真や動画を通じて当施設の魅力を海外に向けて発信します。



「利用促進への取組」

図表 3-5-5

当社が企画した体験型インバウンドツアー



(3) 利便性の向上

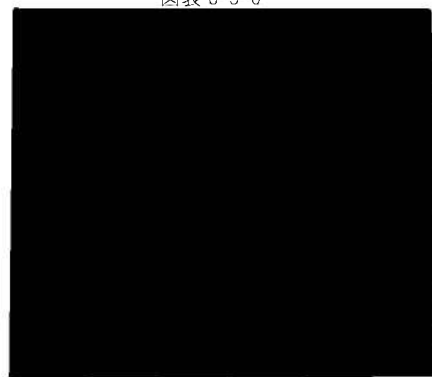
- ・ **社内の海外部門と連携**し、低コストで多言語対応の整備（英語・中国語 など）を行うほか、館内の案内表示やパンフレット・Web サイトの整備を行い、海外の利用者への利便性向上を図る取組を行います。

話題性のある土産・商品の開発

- 土産の品は **全国各地に広がっていく広告塔**と考えるので、本施設の魅力や長久手古戦場を感じることができるオリジナル商品を新たに作り出します。
- 社内の物販専門部署で、これまで多くの施設でオリジナル商品を開発・販売してきた実績とノウハウを活かし、本施設においても歴史や地域性を反映した魅力ある土産品を開発します。
- 土産の品を通じて来館意欲の向上と施設の認知向上を図ります。
(当社オリジナル商品の事例は P. 63 様式 3-15 参照)

図表 3-5-6

【本施設に置く土産・商品の候補】



2. 展示内容の充実

常設展示の拡充

- 利用者の継続的な来館を促すため、常設展示については年 2 回以上の展示入替を実施するなど、貴市と連携を図りながら、利用者が何度訪れても新たな発見が得られるよう、「いつ来ても新たな発見のある」「変化し続ける」館の運営を行います。
- 展示方法について、歴史を一方的に伝えるのではなく、利用者が自ら問いを持ち、立ち止まって考える体験を促す、**パブリック・ヒストリー**の考え方を取り入れた展示手法の導入を検討します。
- 自分自身で発見し、意味を見出す参加型の展示により、歴史に詳しくない方でも興味を持ちやすく、幅広い層の来館意欲を引き出す効果が期待できます。
- 一方的に説明を受けるのではなく、「自分の視点で歴史を味わう」体験を通じて、来館動機が多様化と継続的な集客に繋がります。

「利用促進への取組」

パブリック・ヒストリーの考え方を取り入れた展示

案①：武将ごとに異なる書状の内容を比較できる展示
 →「なぜこの武将はこう書いたのか？」
 「相手にどう見られたいと思ったのか？」

案②：長久手合戦図屏風に描かれた兵士の心情を創造させる展示
 →「この兵士はどんな気持ちでこの場にいたのか？」
 「それぞれの武将がどんな施策を考えていたのか？」



ハンズオン展示の導入検討

- 本施設での収益が計画値を上回った場合は、貴市と相談のうえ、**ハンズオン展示*の増設**を検討します。
- 利用者が実物に触れながら学べる「体験型」の仕掛けを取り入れることで、理解を深め利用者満足度の向上につなげます。
- 「体験」により利用者の記憶に残り、SNS や口コミによる発信へとつながることで、来館を促し継続的な利用促進を図ります。
 * ハンズオン展示 … 利用者が手で触れて体験できる参加型の展示手法

図表 3-5-7
ハンズオン展示(イメージ)



ガイドコンテンツの充実

- ガイドコンテンツの充実は、展示への理解を深め、来館体験の質を高める重要な要素と考えます。
- 利用者の興味や知識レベルに応じた多様な解説を提供することで、幅広い層の満足度向上が期待できるため、まずは足を運んでもらい来館後に展示への興味や理解が自然と深まる流れを生み出しリピーターの獲得にも寄与していきます。

図表 3-5-8
ガイドツアー(イメージ)



〈歴史をより深く学びたい層への施策〉

● [Redacted] にご協力いただき、館内展示ガイドや史跡を巡るフィールドミュージアムツアーを企画・実施します。展示閲覧だけでは伝えきれない長久手古戦場の歴史や魅力を、専門的な解説とともに理解いただける機会を提供します。

〈歴史に興味関心が低い層への施策〉

● 歴史に馴染みの薄い層（特に若年層）の集客のために、エンターテインメント性を取り入れたコンテンツを導入することで、普段 博物館を訪れない幅広い層の集客を図ります。
 (例) 有名声優・著名人を活用したデジタルガイド整備の検討 等

図表 3-5-9
デジタルガイドのイメージ



企画展示の考え方と誘客施策

(1) 企画展の目的・意義

● 企画展示は、研究の成果や他館収蔵・未公開資料等を一般に公開し、特定のテーマに基づいて深掘りをするところから、利用者に新しい知見やより深い学びを提供できるという意味で、博物館の価値を持続的に高め、広めるために重要な役割を果たすと考えます。

(2) 継続的な来館促進

● 常設展示に加え、テーマ性のある企画展示を定期的で開催し新たな発見や興味を生み出すほか、季節や地域行事等と連動させることで、何度も訪れたい館運営を目指します。

(3) 多角的なテーマ設定



(4) 講演会・トークセッション・ワークショップの開催

● 企画展の連動企画として、有識者・研究者・学芸員等を招いた講演会やトークセッション等を開催し、展示の背景・歴史的意義を掘り下げ理解を深め、より充実した鑑賞体験を提供します。
 ● また、親子で参加できるクラフト型のワークショップや、戦国時代の文化・技術に触れる実演イベントなども連動開催することで、楽しみながら学べる機会としても活用します。

「利用促進への取組」

年度	本施設にて実施する企画展（案）
R8	<p>テーマ：兄弟の選択—豊臣家と森家にみる戦国の家族史 （大河ドラマ「豊臣兄弟」コラボ企画）</p> <p>【内容】 天下統一を共に支えた豊臣兄弟と、異なる役割で家を守った森兄弟 ～ 戦国時代を乗り越えた両家の物語に迫る ～</p> <p>【講演会】 豊臣兄弟と森家兄弟に見る家族の役割</p> <p>【フィールドミュージアム】 森軍の足跡をたどる周遊ツアー</p> <p>【ワークショップ】 家紋デザイン体験：オリジナル家紋づくり</p>
R9	<p>テーマ：池田一族の三代記—恒興・輝政・忠雄—</p> <p>【内容】 信長、秀吉、家康に仕え、激動の時代を駆け抜けた池田一族 三代にわたる家の営みと、長久手に残る足跡をたどる</p> <p>【講演会】 戦国を生きた池田一族とその時代</p> <p>【フィールドミュージアム】 池田軍の足跡をたどる周遊ツアー</p> <p>【ワークショップ】 姫路城をつくろう（折り紙城）</p>
R10	<p>テーマ：軍記物が語る小牧・長久手の戦い—語り手たちの視点を読み解く</p> <p>【内容】 小牧・長久手の戦いを記録した複数の軍記物に注目し、戦いの実像とその背景にある「語り手の意図」に迫る</p> <p>【講演会】 軍記が描く小牧・長久手の戦い—軍記事の違いと背景を解説</p> <p>【フィールドミュージアム】 軍記に記された視点を手掛かりに、実際の風景を感じる</p> <p>【ワークショップ】 ・戦国時代の書状をつくろう</p>

「利用促進への取組」

3. 日常利用の促進

住民の憩いの場と誘客の入口創出

- 地上1階エリア及び芝生広場は、本施設をより身近で親しみのある存在として位置づけるための、**重要な交流空間**と捉えています。これらの空間を来館の有無にかかわらず住民が気軽に立ち寄れる“開かれた博物館”の顔として整備・活用することで、**日常的なにぎわいの創出**と地域住民の施設への愛着形成を図ります。歴史に興味・関心のない層や偶然立ち寄った層にもアプローチ可能なこの空間を、「誘客の入口」として戦略的に位置づけ、記念館全体の利用促進へとつなげてまいります。

(1) 芝生広場の活用

- ・ 地上1階に隣接する芝生広場は、施設と地域をゆるやかにつなぐ“日常の入口”であり来館のきっかけを生み出す重要な空間と捉えています。この芝生広場を日常的な憩いの場として地域に開放するとともに、記念館の展示や企画と連動したイベント・体験の場として位置づけることで、歴史に関心の薄い層や偶然立ち寄った来訪者層の来館を促進します。
- ・ 芝生広場を活用した取り組みにより、記念館を「地域の日常に溶け込む場」として定着させ、自然な形で利用者数の底上げを図ります。また芝生広場にて多種多様なイベントを開催し、日常的ににぎわいが生まれる広場としての活用を推進します。

図表 3-5-10 芝生広場の日常使い（イメージ）

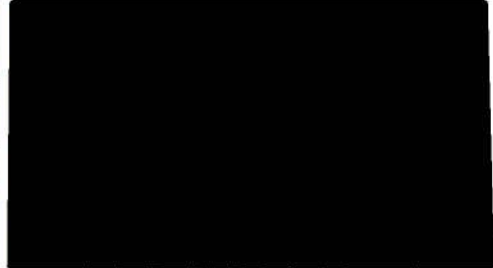


（遊び道具の貸し出し）



（備品の設置）

図表 3-5-11 芝生広場でのイベント（イメージ）



（写真：豊明市共生交流プラザ カラット）

(2) 地上1階エリアの空間づくり

- ・ 地上1階エリアは地域住民や芝生広場の利用者、歴史に馴染みのない層も気軽に立ち寄れる「日常的に立ち寄れる場」として整備・活用してまいります。
- ・ 長久手古戦場の歴史を知ってもらうきっかけづくりの場所として、図書スペースの設置や、多種多様なワークショップの開催。地下1階の常設展示と連動した収蔵物の展示・企画など、常設展示室への誘客にも繋がる施策を行います。

図表 3-5-12 図書スペースのイメージ



（写真：名古屋市青少年交流プラザ）

図表 3-5-13 ワークショップのイメージ



（写真：名古屋市青少年交流プラザ）

和弓場の活用

- 弓道の振興を目的として、地元の弓道団体や貴市と連携し、無料体験会や公開練習などを開催し、子どもから大人まで幅広い世代が弓道に触れられる機会を提供します。
- 礼法や道具の紹介、ミニレクチャーに加え、弓道の歴史に関する展示や解説も合わせて行い、弓道の魅力や文化的価値を多角的に発信する場として活用してまいります。

「地域や関係機関との連携についての考え方」

質問項目	長久手古戦場記念館等の管理運営にあたり、住民との協働や地域団体、関係機関との考え方について記入してください。
------	--

現地現物で現状を把握し、本施設の設置目的を果たすために 住民・市民団体との“共生”する姿を目指します

提案の
ポイント

- ▶ 地域住民・団体との丁寧な対話を通じた多面的な連携
- ▶ 誰もが古戦場と接点を持ち愛着につなげるための地域協働
- ▶ 担い手への住民協働を推進する仕掛けとしてのサポーター制度の創設



1 地域連携の重要性・基本的な考え方

多方面との良好な関係を築き、本施設の役割を果たします

本施設における地域連携の重要性について

- 現在に至るまで地域の方々によって語り語り継がれてきた小牧・長久手の戦いに関連する史実や史跡・郷土史の価値に加え、その背景や経緯、そしてそこに込められた地域の方々の思いを今後も語り継いでいく役割を果たす意味において、本施設は重要な役割を担うものと考えます。
- これまでどの時代においてもこの地に愛着を持ってつないできた方がおり、現在も市民団体を中心に保存・継承していますが、いずれはその役割を次の世代が受け継いでいかなければなりません。
- そのためには、史実や郷土史の歴史的価値を十分に理解し、後世へ伝えていきたいと思える「**担い手**」を発掘し、「**愛着**」を育てていくことが必要で、守りつなく想いと専門性を有する地域・市民団体の皆さまと、目指す方向性や想いを一つにした連携・協働が不可欠だと考えます。
- 歴史文化への興味関心の有無にかかわらず、本施設の開業を契機として、**誰もが古戦場と“自分なりの接点”を持ち「愛着」へとつなげるきっかけを創るために、地域・市民団体の皆さまと積極的に協働・連携します。**
- また、歴史文化や伝統文化だけではなく地域社会の一翼を担う存在として、本施設の運営における様々な面において、住民や市民団体、関連機関と多面的に協働することで、**地域社会に溶け込み共生**する姿を実現します。
- 特に、下表4つの切り口を中心に連携・共生しながら、地域に対する住民の「愛着形成」と「魅力的な駅前交流環境の創造」を目指します。

図表 3-6-1 地域・住民との連携・共生のイメージ



「地域や関係機関との連携についての考え方」

2 地域や各関係機関との連携の方向性

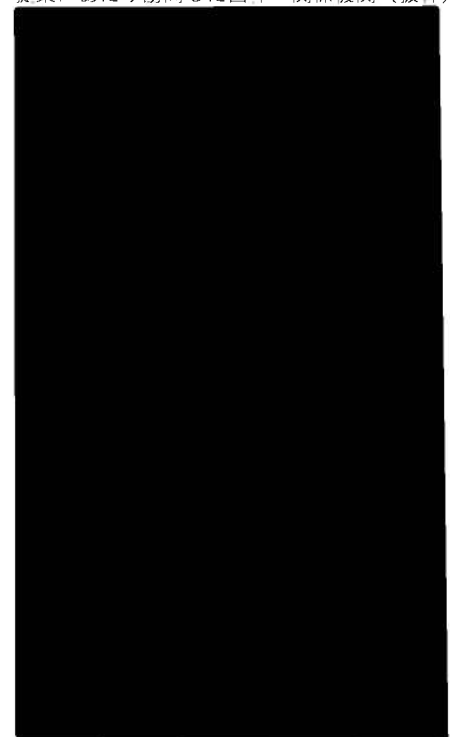
地域共生を軸とした4つの切り口から多角的な連携・協働を図ります

図表 3-6-2

提案にあたり訪問した団体・関係機関（抜粋）

地域や団体、関係機関との連携の考え方

- 取組を進めるにあたり、地域に対する強い思い入れがあり専門性を有する市民団体との連携は欠かせません。
- 加えて、文化財行政と直接関わりはなくとも、地元自治会や様々な市民団体、公共・学校教育機関、企業等との連携も本施設の社会的な役割の一つとして重要と考えており、**各団体からの依頼等には公の地域社会の一員である意識で誠意を持って対応**し、施設の利用促進を図ります。
- **今回の提案にあたり、各団体に訪問し、それぞれの想いや課題、本施設とどのような連携ができるのかについて意見交換**をさせていただき、各団体との連携(案)を策定しました。
- 各団体とは、日々のコミュニケーションを密に、地域行事や祭り等に積極的に協力することで、相互協力ができるよう日頃から良好な関係構築に努めます。
- また、本施設の開業を契機とした新たな連携はもちろん、**「これまで各団体が行ってきた様々な取組を行う場所」や「気軽に足を運べる(日常的な)場所」として、本施設や芝生広場等を幅広い方に活用いただける施設**を目指します。
- そのように地域の一部として溶け込み、皆さまとの連携・共生を通じて、関心・愛着が生まれ、将来の担い手づくりへとつなげるサイクルを生み出します。



「01. 郷土への誇りの醸成」につなげる連携・協働

- 市民の力を活かした文化財の保護、活用及び啓発を進めていくため、**「地域で守り、育てる」という視点を大切**にし、長久手の歴史文化や郷土に愛着や誇りを持てる企画を実施します。
- これまで長久手市の伝統文化の保存継承や歴史文化の研究等に尽力されてきた、

様々な分野においてスキルを持っている地域の皆さまとの連携を強化した事業を推進します。

- とりわけ「長久手古戦場まつり」は、市民団体による棒の手披露や火縄銃の実演、地域の文化団体による出展等で多くの来場者が見込まれることから、古戦場や史跡について広く知っていただく絶好の機会と捉えます。
- 本施設としても、当該まつりをはじめとした様々な催事の際は、場所等の面でのご協力のみならず、古戦場や史跡、地域の様々な歴史・文化に触れることができるよう、地域の団体様と連携したワークショップや展示等の面で積極的に連携してまいります。
- そのような機会を継続して行い市内外からの集客を増やし、生まれたにぎわいを通じて、**現在に至るまで脈絡と受け継がれてきた歴史・伝統を目の当たりにし地域の方々の想いに触れる**ことで、郷土に対する誇りを持つきっかけとなるような役割を果たします。

「02. 学びや興味の深化」につなげる連携・協働

- 老若男女を問わず、地域の歴史文化に接点がない方から深く学びたい方まで、幅広い層の学びや興味につなげるために、市内外の幅広い団体・教育機関・施設等との連携を積極的に進めます。
- 広域にわたって、複数の戦闘が繰り返された小牧・長久手の戦いの全容を紐解き、学びを深めるためには、市内の研究団体等に加えて市外に関連団体・施設との連携が必要不可欠と考えます。

アウトリーチによる連携強化・教育普及

- 深く学びたい層に向けて、と連携したギャラリートークやフィールドミュージアム事業をはじめ、市外関連施設との共同企画展・双方学芸員による講演・トークイベント等での連携を図ります。
- 積極的に他市施設へも訪問、関係性を築き幅広い仲間づくりを進めることで、既存のパートナーシップ等の周遊・スタンプラリーイベント等への参画を図ります。

「地域や関係機関との連携についての考え方」

- また、歴史文化に接点の薄い層を中心に、積極的に**アウトリーチ活動**を進めていきます。
- []が行う出張授業とうまく棲み分けながら連携できるよう、当社学芸員が市内の小中学校等へ出向いて []等、「**歴史**」への**興味関心の入り口となる出張授業**を貴市と協議の上検討します。
- 授業テーマの検討にあたっては、貴市および []の意向を伺いながら、棒の手や警固まつり、山車等の郷土史を含めるなど、「戦」のみならず、この地への想い・愛着形成も念頭において進めます。

図表 3-6-3 出張授業のイメージ



市内・近隣大学との相互連携

- また、市内および近隣大学とは、図 3-6-4 のように、**授業やゼミ活動、学生ボランティア等と多面的に連携**します。
- 今回の提案にあたり、複数の大学へ訪問し、連携についての意見交換をさせていただきました。
- 学生自身が学びを実践し経験する機会・場を提供するとともに、学生の柔軟な発想により多世代にとって魅力的な施設への常にアップデートし続ける施設であるために、積極的な連携を進めてまいります。

図表 3-6-4 大学連携のイメージ

文学部系
学生ボランティアによる館内ガイド協力 博物館実習受入(中長期計画として)
芸術系
広報チラシデザイン 入館チケットデザイン フィールドマップ制作
外国語系
多言語ガイドツアー作成・実施
総合政策・マーケティング系
土産開発 広報戦略の共同検討

「03. 将来の担い手発掘」につなげる連携・協働

- 特に、これまで古戦場・史跡の研究・教育普及において重要な役割を担ってきた []と、「**館内ガイド**」及び「**史跡ガイドツアー**」等を**当社から有償で委託する形で連携**します。
- 今回の提案にあたり、 []と対話を重ねるなかで見えてきた「ボランティアとしての活動の継続性」「会員の高齢化による会自体の存続」といった課題に対して、後述の本施設との連携を通じて、 []の持続的な活動を後押しします。
- 「館内ガイド」は、本施設のオープン初年度は毎日、2年目以降は週末やイベント時を中心に、 []が本施設にお越しいただき、展示物や合戦・史跡の詳細について、専門的な知識をもとに利用者への解説を行います。
- 「フィールドミュージアム事業」は、月1~2回程度の頻度で、 []が既に行っている史跡ガイドを更に進化させて実施します。(詳細はP.60 様式3-15参照)
- []
- このような活動を通じて、史跡としての価値や同協会をはじめとする地域の方々の守り・繋ぐ想いに触れることで、将来の担い手を発掘し長期・安定して語り継げる姿を目指します。

博物館実習の受入

- 近隣大学との連携においては、開館数年後を目途に、**博物館実習生の受入を積極的に行う**ことで、本施設の学芸員や次世代の担い手等、地域内での人づくりに貢献していきたいと考えています。
- 実習生受入の実績を重ねていくことで、地域から信頼され必要とされる博物館を目指します。

「長久手古戦場サポーター制度」の創設

- 施設管理の様々な場面で住民の参加が図れるよう**サポーター制度を創設**し、本施設や駅前エリア一体を盛り上げてくださる方や施設管理をサポートしてくださる方を広く募集します。
- リモテラスでもサポーター制度を導入しており、住民主体の様々な活動が実現しています。
- 利用者からの意見を一覧で管理しており、その中には、「地域活性化のお手伝いがしたい」や「マルシェや子ども向けの体験会を開催したい」等の声もあります。
- 古戦場サポーター制度では、新規募集に加えリモテラスに寄せられた声を(ご本人の了承を前提に)両館で共有し進めることで、市民とともに効果的に本施設を管理運営していきます。
- また、リモテラスでの好事例を本施設へ横展開することで、本施設におけるサポーター制度の早期かつ効果的な運用開始を目指します。

「地域や関係機関との連携についての考え方」

- また、騒音等の問題についても近隣住民への丁寧な説明等により、地域住民と共生を図ります。
- 地域社会の一員であることを認識し、地域振興に資する活動等に積極的に取り組みます。
(例) スタッフが啓発ベストを着用し野外清掃等を行い、**貴市が推進する「あいさつ運動」に積極的に協力**することで、住民の方々との声かけを通じた安全なまちづくりへの貢献
- 貴市へご相談のうえ、「記念館等運営会議」を毎月1回開催することで、事業計画の進捗や来館実績等の報告のほか、情報共有やご相談の機会として積極的に活用します。

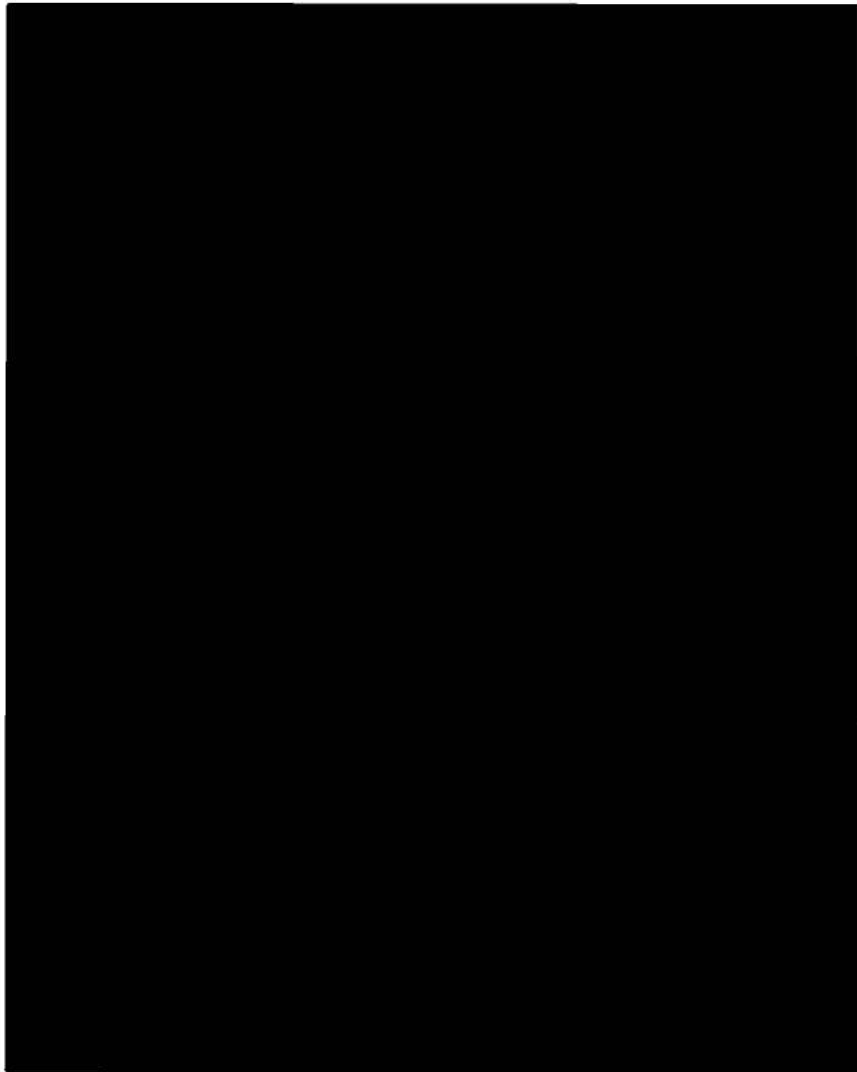
最後に

- 当社はリノテラスの管理運営をさせていただく中で、市民団体をはじめ住民の皆さま、
[REDACTED]等の地元企業とのつながりや信頼関係を構築してきました。
- そこで関わる皆さまが持つ想いは同じで、**長久手には魅力的な人・資源が多く、これを活かしてこの地を盛り立てていきたい**という想いがたくさんあることが分かりました。
- 地域の皆さまの思いを原動力に、リノテラスで築いた地域の皆さまとのつながりを活かし、まちづくりを担う者同士、連携・協調を強めることで、**歴史文化の保存・継承、発信とともににぎわいあふれる魅力的な駅前交流環境の創造**に向け、地域の皆さまと一丸になり取り組みます。

3 住民や地域団体との具体的な連携(案)

- 本提案にあたり、各団体様と意見交換をさせていただく中で、「長久手の歴史・文化をもっと多くの人に知ってほしい」や「後世にも残していきたい」といった生の声を聞き、熱い想いに触れることができました。
- こうした想いの実現と本施設の魅力価値向上に向け、新たな取組のみならずこれまで地域の皆さまが守り語り継いできた思いを大切に、二人三脚で共に施設を創り上げていきます。

図 3-6-7 具体的な連携イメージ(案)




「緊急時の体制の概要」

質問項目	事故や災害発生時などの緊急時の体制について、連絡方法及び対応を含めて記入してください。また、事故や災害発生時に的確に対応するための平時の取組（職員研修や施設の構成・構造や特性を踏まえた訓練の実施等）についても、具体的に記入してください。
------	--

万一の事態を想定した事前の備えと、本部のバックアップ機能により、適切な管理運営を担います

提案のポイント

- ▶ 本部・近隣拠点のバックアップによる非常時体制
- ▶ トヨタ基準に則り施設特性に応じた実用的な危機対応・マニュアル整備
- ▶ 利用者、収蔵品を守るための各種取組の強化



1 本社・近隣拠点のバックアップ体制の構築

本施設の BCP を確実に理解し、万全な対策を行います

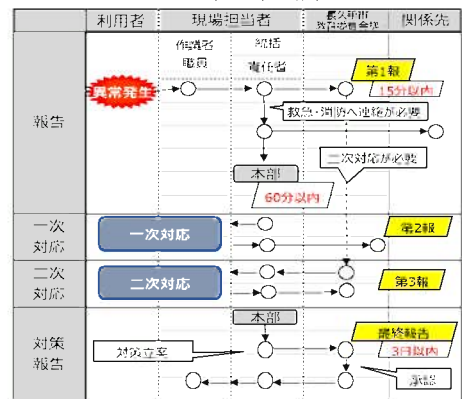
被害を最小に抑え、危機へと発展させないための体制

- 緊急を危機へと発展させないことを念頭に置き、「長久手市地域防災計画」をはじめ、ハザードマップや各対応マニュアルを確実に理解するとともに、観光施設である本施設の特性をしっかりと押さえ、**BCP 対策**に取り組む体制とします。
- 緊急時全般に共通しますが、万が一発生した場合においては、被害を最小に抑えこむために、初動から事態収束までの対応を関係者間で確実な連携を図り、**組織的に動ける体制**を整えます。

貴市との連絡体制

- 有事が発生した場合、的確な初動対応ができるか否かは**情報伝達ルールが整備され正しく機能**していることが重要です。
- 緊急時連絡網を整備するとともに、平常時より**総括責任者へ情報一元化**を図り、貴市はじめ各関係先へ**迅速な報告・連絡・相談**を行うことで強固に連携し事態の収束に努めます。
- 総括責任者及び業務責任者へは会社携帯を支給し、常に連絡が取れる体制とします。
- 万が一事故が発生した場合は報告フローに沿って連絡及び報告書を作成し貴市へ提出します。

図表 3-12-1 緊急時の報告フロー



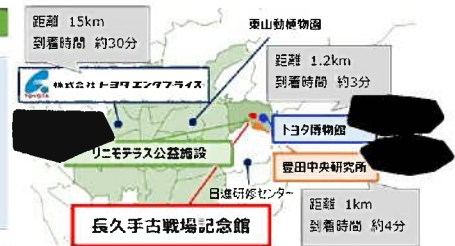
業務の継続、施設機能を維持する支援

- 当社では**本部機能が現場支援を行える体制**にあり、本社や近隣拠点より人員の応援を実行し、維持・復旧への対応力を強め、有事においても頼れる施設の姿を守ります。
- 本社防災担当部署と各職場が**災害情報システム**により情報集約を行うことで、災害への事前・事後対応を早期に行う仕組みを整えています。

図表 3-12-2 非常連絡体制図



図表 3-12-3 バックアップ体制



図表 3-12-4 災害情報システムの運用



「緊急時の体制の概要」

2 事故や災害等の緊急時の体制について

これまでの発生事象を踏まえた効果的な対策の実施により、事故ゼロを目指します

基本的な考え方 ～「利用者」の安全へ徹底的にこだわる～

- 地震や風水害をはじめとする異常気象災害・火災・ウイルスによる感染症・急病人対応など想定されるあらゆるリスクに対し、「未然防止策」「緊急時の対応」「再発防止策」を体系的に取り組むことで安全への総合力を高めます。

未然防止策

危機管理マニュアルの整備

図表 3-12-5 整備マニュアル(例)

- 地震や風水害等の自然災害・火災や感染症、人為的な原因による災害に対し本施設特有のポイントを踏まえた各種マニュアルを整備します。
- 整備にあたっては、「長久手市地域防災計画」や「文化財保護法」「博物館法」等の各種規定・法令に基づき、常に最新の情報となるよう毎年見直しを行います。
- 当社が管理運営する施設で災害等発生時に実際に使用し改良を重ねてきた実用的なマニュアルを活用しつつ、**多言語化や視覚化した情報を用いた避難誘導等、様々な利用者特性に対応**できるものとしします。

・火災
・地震
・風水害 (台風、洪水等)
・雪害
・停電、漏水
・感染症
・食中毒
・急病、怪我人
・不審者、不審物

職員がマニュアルの内容を確実に理解するために

- 職員一人ひとりがマニュアルの内容を十分に理解していることが重要**と考え、概要版を事務所に掲示し、日常的に意識する環境をつくります。
- 集合研修等にて、緊急時の動きや配備される備蓄物資の内容や保管場所等を全ての職員が現物を把握し有事の際においても直ちに適切な行動ができる体制とします。

苦情処理への対策

図表 3-12-6 実際の研修の様子

- 当社研修専門部署と連携し社内講師による接客マナー研修**(苦情対応を含む)を実施し、接客マナーをはじめ**苦情への対応策をロールプレイを通して学ぶことで、職員一人ひとりの実践力を**高めます。
- 当社運営施設間での事例を共有することで、類似の事案発生を未然に防ぐ**とともに、各施設における対応の質の向上を図ります。



緊急時の対応

非常配備体制への早期移行

- 貴市と予め合意した非常配備体制・役割分担に基づき各職員は速やかにその任務につき災害応急対策を確実に実行します。
- 総括責任者が防災隊長として**関係各所への連絡と連携を図り、速やかに非常配備体制を確立**し、必要に応じて貴市が行う災害応急活動等に協力するとともに、一時避難所として開設準備や避難者の受入れ等の対応を行います。

緊急時における施設利用の制限

- 警報等の情報を常に収集できる状況を整えるとともに、事前に施設の利用制限基準を設け、予見回避の観点で迅速に対応を判断し、**利用者の安全**を守ります。
- 館内利用者への「非常事態アナウンス手引き(日本語版・英語版)」作成し、緊急時に利用者への案内が遅れることなく確実に実行されるための対策を予め準備します。

防災隊の編成と避難発生時のフロー図(火災/地震)

図表 3-12-7 防災隊編成と役割(例)

- 避難を必要とする災害時には、利用者や全関係者を**安全に避難させることが任務**となります。
- 貴市と協議しながら人員の役割を明確化し、作成したフロー図の整備に基づき利用者の安全を確保します。
- また、緊急時に必要となる備品や防災隊編成の各役割に応じて必要資材を配備します。

【配備資材(例)】

- ・消毒液・絆創膏・包帯・ガーゼ・脱脂綿・三角巾・ハサミ
- ・点呼シート・避難経路確認表・避難場所案内図・誘導灯・着用ベスト

防災隊編成	役割
防災隊長	施設全体の指揮命令 (①情報を受け、②避難指示、③市への報告・連絡)
副隊長	施設全体の情報集約窓口、防災隊長を補助
施設隊長	集合施設の各施設別に任命、部長(副隊長)への報告、自施設内の指揮
情報連絡係	点呼係・避難経路係からの報告を受け、総括を聴取、集計、一時避難場所への先導
避難誘導係	避難経路の確認、避難場所への利用者誘導
点検・消火係	利用客室の点検・報告、各室利用者への声掛け、初期消火活動
点呼係	避難前・後の点呼確認、避難先先導役として移動、避難後結果を情報連絡係へ報告
教護・支援係	教護やリポートが必要な方への対応、教護研の設置
資材係	資材等、収蔵品の緊急避難対応

「緊急時の体制の概要」

再発防止策**基本的な考え方**

- 事故発生時は、被害の最小化に最善をつくすことは当然のことながら、事態収束後においても原因の深掘りを必ず実施し、**真因の洗い出しと対策から同類の事故を撲滅することが重要**と考えます。


組織的な再発防止活動

- 報告書は発生、被害状況の記載に加え、要因を追求したうえで、再発防止策をまとめます。
- 発生要因は下記の視点から真因を追求します。
 - ・ **不安全行動**（人的要因）・**不安全状態**（物的要因）・**管理的要因**（教育・指導・作業要領書等）
- 再発防止と安全教育を目的として全職員による「なぜなぜ活動」（起こった事象に対し5段階のなぜ、を繰り返し真因について探る活動）で真因と対策の討議を行います。
- 生じた事案については真因を特定し、解決策を明確にするとともに内容を全職員で共有することで、共通認識をもって再発防止に努めます。
- 対策の実行と効果検証及び事例報告を記録化するとともに必要に応じマニュアル等の改訂を行います。

3 収蔵品の保護に向けた取組**有事に備えた適切な対策により、収蔵品を保護します****緊急時における収蔵品保護の対応について**

- **利用者や関係者の安全確保を最優先**としたうえで学芸員が中心となって収蔵品を保護します。
- 各収蔵品は劣化や災害による被害を受けやすいため、日頃から**収蔵品の特性に合わせた最適な展示、保管を実施**します。
 （例）・適切な温湿度、照度での保管や展示 ・ ワイヤーやフックでの固定 ・ 間隔をあけて保管 等
- 緊急時においても各収蔵品の在り処を明確にするために、定期的に収蔵品台帳に基づく管理を行い適切に保管します。
- 本施設に設置される消火設備の特殊性を鑑み、学芸員のみならず全職員に対して、メーカーによる有事に備えた設備の取扱説明・訓練等を行い、実践力を高め、緊急時に動ける体制とします。
- 万が一、収蔵品に被害があった際には貴市等に速やかに報告するとともに、**水損、焼損、損傷等の被害に合わせて適切な処置を施し**必要に応じて外部支援を要請します。

4 訓練の実施と当社の取組**確実に利用者を守れるよう、実践を通して対応力の向上を目指します****災害・事故発生への職員対応力強化に向けた取組**

- 災害時に職員が役割を果たすには教育や研修を通して自身の役割を認識し手順に慣れておくことが重要であり、**教育と避難訓練を繰り返し実施**することで職員の判断力と行動力を養います。
- 2回/年実施しているリニモテラスや等と連携している合同訓練に本施設も加わることで、災害時の円滑な連携体制の構築を目指します。

図表 3-12-8 避難訓練の様子

**様々な危機に備えた職員研修や講習会の実施 ～AEDの操作習得～**

- **「普通救命講習」を所轄の消防署と連携し定期的に実施**します。
- 全職員を対象に講習会を実施することでAEDの操作や心肺蘇生法などの救命措置を身につけ、全職員が人命救助に対応できる体制を整えます。

図表 3-12-9 普通救命講習の様子

**本社と一体となった衛生管理**

- 当社では、**HACCP(*1)の考え方を取り入れた衛生管理**を徹底しています。
- 衛生管理の徹底に向けて、自主事業等で食品を提供する場合は本社事業統括部署による**現地調査・指導**等を行い安全な運営方法を確立します。
- 加えて、同部署作成のマニュアル・ツール等を用いて、本施設の職員に対し、教育・周知徹底します。

*1 HACCP … Hazard Analysis (危害分析) and Critical Control Point (重要管理点)の頭文字の略で、食品の製造や管理の過程における様々な危害要因を分析し、その危害要因を除去、低減するのに特に重要な工程を管理することで食品の安全を確保する手法のこと
 <参照：日本規格協会(JSA)公式ホームページ>


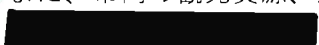
「管理運営に係る PR 事項」

1 フィールドミュージアム事業について

フィールドミュージアムについての基本的な考え方

- 史跡周遊は、歴史を「知識」として学ぶだけでなく、「体験」として理解を深めるために欠かせない要素であると考えます。
- 本施設で得た知識をもとに、実際の史跡を訪れることで、資料や展示だけでは得られない地形の臨場感や当時の空気感、風景の広がりを感じ、学びの定着を図ります。

フィールドミュージアムマップの作成

- 本事業の推進にあたり、市内に点在する史跡の周遊を促進するためのツールとして「フィールドミュージアムマップ」を作成します。 図 3-15-1 フィールドミュージアムマップ(イメージ)
- 本マップの作成にあたっては、小牧・長久手の戦いに深い知見を有する をはじめとした関係団体様にご協力いただきます。
- コースは複数のパターンを設定することで、**利用者のニーズや滞在時間に応じた柔軟な選択を可能とし**、周遊のハードルを下げる工夫を盛り込みます。
- また、市内の観光資源、飲食店情報に精通した  と連携し、史跡巡りと併せて長久手の魅力にも触れることができるよう、地元のカフェや製菓店等の情報を加えることで、より多くの方が手に取りたくなる魅力的な内容となるよう制作します。
- 実際のマップのデザインから制作にかけては、**当社のデザイン事業専門部署のノウハウを最大限に発揮**し、コストを抑えつつ利用者視点での分かりやすさと視覚的な魅力を両立させます。

史跡周遊の促進のためのコンテンツ拡充



- ① ガイドツアーコンテンツの拡充 <  との連携 >
史跡を巡る順序や立ち寄る場所にバリエーションを持たせたコース設定に加え、ガイド内容の深度や表現方法にも工夫を加えることで、幅広い層に適したガイドの提供を目指す
(狙い) 利用者のニーズや滞在時間に応じた柔軟な選択を可能とし、周遊のハードルを下げる
- ② 史跡周遊×イベント < 市内大学・企業との連携 >
歴史にあまり興味がない人や子ども等にも親しみやすい形で史跡周遊を促進するため、楽しみながら学べる周遊プランを策定する
(狙い) 馴染みの薄い若年層の意見を取り入れた親しみやすいプランを構築する(大学連携)
民間ノウハウやテクノロジーを活用した楽しく学べる体験を提供する(企業連携)
- ③ 戦いの全容を知るツアー < 他館との連携 >
市外の史跡含めた広域的な周遊プランを通じて、小牧・長久手の戦いの全体像への理解を一層深める
(狙い) 施設へ関心を持つ方が本施設へも興味を抱ききっかけとなり客層の多様化を目指す
- ④ 古地図とともにめぐるツアー <  との連携 >
古地図を片手に史跡を巡ることで現在と過去の地形や街並みを比較するツアー
(狙い) かつての地形や道筋をたどりながら、史跡の背景を深く理解できる学びの創出

図 3-15-2 史跡周遊促進策のイメージ

「管理運営に係る PR 事項」

2 学芸員の配置について

専門性の担保

- 配置予定の学芸員は、**中世日本史に関する専門性**を有しており、長久手古戦場及びその史跡に対する熱い想いと高い意識を持った人材です。
- 博物館学芸員のもとで実際の博物館運営に携わり、収蔵品の管理・展示をはじめ、企画展の準備から運営までの**一連の実務経験**を有しています。
- また、寺社における**資料調査・研究の経験を多数有しており**、貴市主導のもと進められる調査研究においても積極的に協力し、本施設の学術的価値の向上に貢献します。
- 加えて研究成果の還元という面においても、研究成果を図録や調査研究報告書、企画展パネルの作成等の形で公開するなどの経験も豊富で、これらのスキルを活かして本施設での学芸業務も高い水準での遂行を目指します。

本施設の質向上に向けた取組

- 大学・大学院・学会・調査研究等で築いた**タテ・ヨコの幅広い人的ネットワーク**を活かし、有識者による講演会の実施や他館の学芸員との連携による共同企画展(交換展示)等を積極的に推進します。
- また、展示においては、資料の見せ方に工夫を凝らし、利用者にとって伝わりやすく、興味を引き出す展示作りを実践し、学会発表や館内ガイド等対外的な発信活動の豊富な経験を活かし、利用者に対してもわかりやすく魅力的な情報提供を行います。

外部専門機関によるモニタリング

- 本施設において、収蔵品の展示・管理等の業務が適切に実行されているかを評価するため、**専門的知見を有する外部機関による定期的なモニタリングを実施**します。
- 評価の依頼先として、**〃〃〃**を予定しており、同社による評価を通じて、施設運営が方針に則り適切に行われているかを客観的に判断し、不足や乖離が認められた場合には速やかに改善します。
- 運営開始後においても、貴市と開催する記念館等運営会議へ必要に応じて参加いただくなど、連携を密に図っていくことで、専門的知見からの視点でのアドバイスを頂ける体制とします。

3 企画展やイベント等の企画・開催について

展示・イベントの重要性について

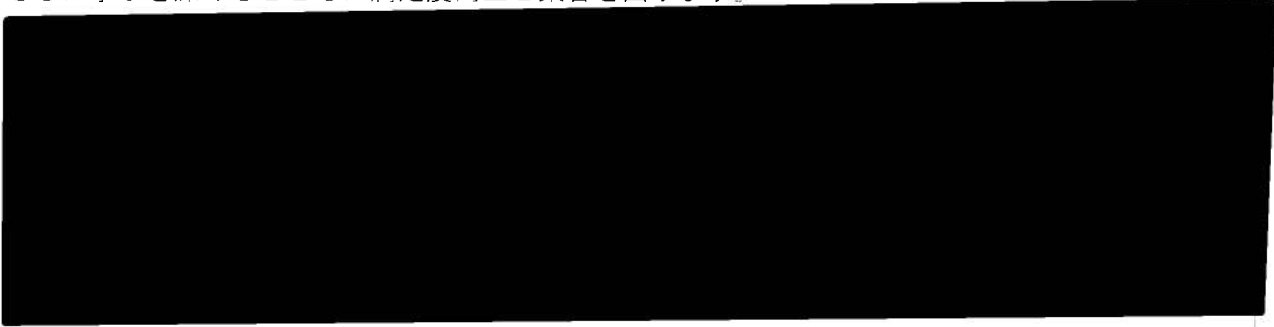
- 継続的な集客や学びの幅を広げ、深めていくためには常設展示の定期的な収蔵品入替のみならず、企画展やイベント等の開催が不可欠です。
- 企画展の実施にあたっては、学芸員の専門的知見や研究への思考・熱意が必要ですが、他館との連携により、より多様で魅力あるコンテンツを提供する事も重要だと考えます。
- また、企画展と有識者による講演会やトークセッション、ワークショップ等を組み合わせることで、展示内容やその周辺知識等をより深めるための機会を提供します。
- さらに、**イベントやワークショップは、歴史や地域文化への関心が薄い層にもアプローチできる有効な手段**だと捉え、参加を通じて本施設との関わりを自然に促し、地域とのつながりや文化への理解を深めるきっかけとなることを意識して展開していきます。

具体的な展示内容について

- 今回の提案にあたり、**古戦場にゆかりのある武将に関連する施設へ実際にコンタクトをとり、企画展での収蔵品の貸出についてご了承いただきました。**

「管理運営に係る PR 事項」

- 普段なかなか目にすることができない貴重な収蔵品を提供することで、利用者の関心を高めさらに学びを深めるとともに満足度向上と集客を図ります。



- また、小牧・長久手の戦いに関連のある [redacted] や [redacted] とも連携を図り、利用者が**“点”ではなく、“面”で戦いの全容を学べる**ように取り組んでまいります。

図 3-15-4 テーマごとの連携先イメージ



- 加えて、企画展は、見せて終わる一方通行の「教える」展示ではなく、**見る人一人ひとりが主体的に歴史と向き合い「考える」きっかけを生む展示手法、“パブリックヒストリー”**の考え方を取り入れます。



イベントの開催について

- 本施設及び駅前エリア一体のにぎわい創出を図るために、イベントは重要な役割を果たすと考えています。
- イベントは、歴史や地域文化に対する関心が薄い層に対しても興味喚起のきっかけとなり、学びや施設との継続的な関わりにつながる重要な手段です。
- イベントの開催にあたっては、当社が**リコモテラスの運営で培ってきたネットワークを最大限に活かし**、リコモテラス、[redacted]と三位一体で連携を図ります。
- リコモテラスや2号公園を中心会場として、[redacted]をはじめとする近隣の施設との連携により、**地域の魅力を最大限活かした大型イベント「古戦場フェスタ」**を開催します。
(詳細は P. 66 様式任意 参照)
- あわせて、より開かれた空間であるリコモテラスを入口とし、本施設へ誘導する仕掛けづくりに取り組みます。
- 具体的には、リコモテラスでクイズの出題を行い、その答えを本施設で確認するなど、**両施設に足を運ぶ仕掛けとすることで自然な導線づくりを実現**します。
- さらに地域の市民団体や個人で精力的に活動されている方々とも連携し、歴史をテーマにしたワークショップ等、地域参加型の企画も展開してまいります。
- 場所の制約が生じる場合は、リコモテラスを開催場所として活用することで、実施できる企画の幅を広げていきます。
- 加えて、すでにリコモテラスで活動している住民や出展者の方々が、本施設でも活躍の場を持てるような機会を積極的に創出し、**住民主体による持続的ににぎわいづくり**にもつなげていきます。
- また、当社が運営する他施設にて高い集客効果のあったイベント事例については、本施設においても横展開し、効果的なイベントを展開してまいります。
- リコモテラスと連携を推進することで、普段は本施設に馴染みのない人も含めた幅広い層の来館を目指します。

図 3-15-5 大型イベントのイメージ



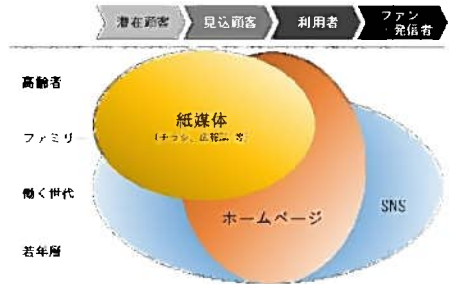
「管理運営に係る PR 事項」

4 プロモーション活動、情報発信等について

プロモーション活動・情報発信の基本的な考え方

- 本施設を広く周知し来館を促すための情報発信にあたり、利用者視点に立ち、「誰もがわかりやすい」情報の量と質を大切にします。
- ホームページや SNS、チラシ・広報誌等の紙媒体といった各ターゲット層に適したツールを使用することで、幅広い層に届く効果的な発信を行います。

図 3-15-6 ターゲット層ごとのアプローチ方法



効果的な認知向上を図るための多様な施策

- 施設パンフレットやチラシは、近隣施設との相互配架によって広く展開し、本施設の情報を各施設の利用者へ届けることで、地域内での認知度を高めます。
- [Redacted]
- [Redacted] についても運営開始後に協議のうえ、連携を検討してまいります。
- また、接点が薄いことが想定される若年層へのアプローチについては、[Redacted]

5 地場産業・地元企業等を活用した土産開発・魅力発掘

効果的な認知向上を図るための施策

- 本施設は、地域住民にとっての学びや交流の場である社会教育施設としての役割と、歴史文化を活かした観光資源としての魅力を兼ね備えた施設です。
- この二面性を活かし、**教育・観光の両面から地域の魅力を発信していくことが重要**だと考えます。
- 観光拠点としての機能を高めるには、利用者の満足度を高め、地域の魅力や思い出を持ち帰る手段として土産販売の充実が不可欠です。
- 現在は、「古戦場もなか」が定番商品として広く知られていますが、それに続く名物土産となる目玉商品の開発に向けて、リモテラスの運営で培った地元ネットワークをもとに、**地元の商店・飲食店、地元大学と連携した定番土産の開発**や、[Redacted] のネットワークを活かした**地元商店とのコラボ商品の開発**等を検討していきます。
- 商品化の実現にあたっては、当社の商品企画～開発・販売までを担う物販部署の企画・流通機能やデザイン部署と連携して実施します。
- また、当社は他指定管理施設や観光施設でも売店・ショップ運営していることから、現場オペレーションや商品開発に関する基盤等のノウハウを多数備えています。

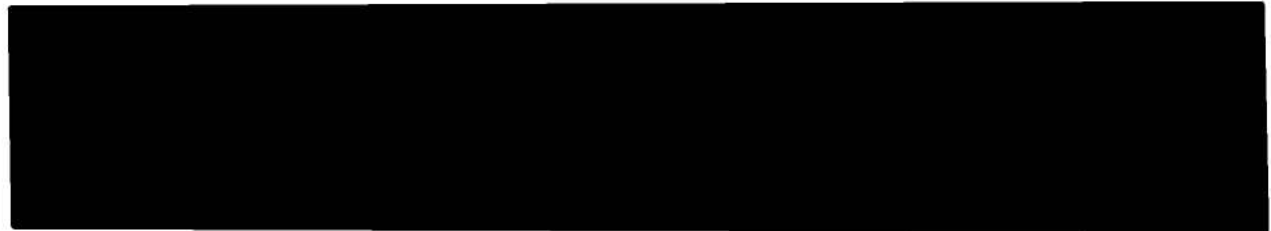
「管理運営に係る PR 事項」



- なお、観光拠点として利用者ニーズに応じた多様な土産品展開が求められる中、**施設内の売り場面積には限りがあるため、リモテラスを活用**しバリエーション豊かな商品展開を図ります。

6 その他

本施設のさらなる発信力の向上



リモテラスとの連携による本施設のさらなる発展




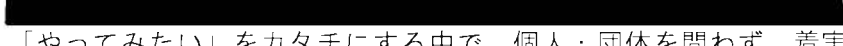
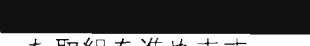

- 公共施設として、地域や文化の振興を担う本施設においては、地域との連携・共生が重要であると考えます。
- 当社には、リモテラスの運営で築いた地域とのコネクションと実績があり、これらをも本施設の運営でも活かすことで本施設の発展へとつなげていきます。
- 令和6年度より、リモテラスの指定管理者として運営を開始し、
、施設の活性化に貢献してまいりました。
- 地域の様々な個人・団体同士をつなぐコーディネート件数については、
地域の皆さまの「やってみたい」をカタチにする中で、個人・団体を問わず、着実に地域との関係性を築いています。
- これまで築いてきたこの基盤を活かし、本施設においても地域との連携・協働を推進することで本施設及び地域の活性化を図ってまいります。
- リモテラスとの具体的な連携としては、両施設を巡ることで完結するクイズ企画やイベント時に第1会場、第2会場として活用するなど、相互に足を運ぶ仕組みを構築します。
- さらに、**にぎわいあふれる魅力的な駅前交流環境の創造**に向けて、リモテラスで培った地域とのコネクションを活かし、地域で活動されている個人・団体はじめ、
駅前エリア一丸となった取組を進めます。

図 3-15-9 連携イメージ



令和 7 年 6 月 24 日

株式会社トヨタエンタプライズ 御中

所在地 :

関心表明書

2025 年 6 月付で長久手市が指定管理者募集について公告した「長久手古戦場記念館」において、貴社から検討依頼のあった下記内容について、関心を持っていることを表明します。

貴社が本事業の指定管理者として選定された際には、内容について協議した上で、本事業が円滑に推進されるよう協力します。

記

1. 事業名 長久手古戦場記念館（以下：本施設）
2. 事業場所 本施設
3. 内 容 長久手古戦場を含めた中世日本史に関する史跡・文化財等の保護及びその歴史的価値を高め、学術及び文化の発展に資するための以下の事業
 - ・ 市内の史跡地等をめぐるガイドツアー、及び史跡案内
 - ・ 長久手市の郷土史研究に関わる人材の発掘、育成
 - ・ 本施設の館内ガイド、展示解説
 - ・ 本施設における展示・教育に関する事業（企画展示、講演会等）

以上

2025 年 6 月 13 日

株式会社トヨタエンタプライズ 御中

所在地：
団体名：
役職・氏名：

関心表明書

2025 年 6 月付で長久手市が指定管理者募集について公告した「長久手古戦場記念館」において、貴社から検討依頼のあった下記内容について、関心を持っていることを表明します。

貴社が本事業の指定管理者として選定された際には、内容について協議した上で、本事業が円滑に推進されるよう協力します。

記

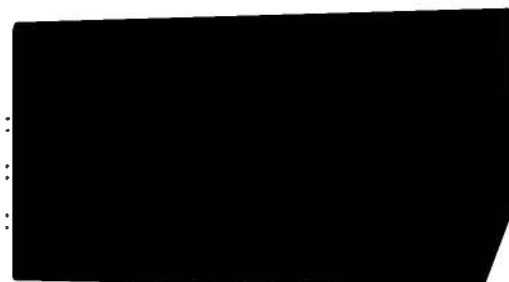
1. 事業名 長久手古戦場記念館（以下：本施設）
2. 事業場所 本施設のほか、両社が合意した場所
3. 内 容 長久手古戦場を含めた中世日本史に関する講演、集客等の施策への協力・連携

以上

2025年5月20日

株式会社トヨタエンタプライズ 御中

所在地：
団体名：
役職・氏名：



関心表明書

2025年6月付で長久手市が指定管理者募集について公告した「長久手古戦場記念館」において、貴社から検討依頼のあった下記内容について、関心を持っていることを表明します。

貴社が本事業の指定管理者として選定された際には、内容について協議した上で、本事業が円滑に推進されるよう協力します。

記

1. 事業名 長久手古戦場記念館（以下：本施設）
2. 事業場所 本施設のほか、両社が合意した場所
3. 内容 長久手古戦場を含めた中世日本史に関する講演、集客等の施策への協力・連携

以上

R7年 7月 2日

株式会社トヨタエンタプライズ 御中

所在地：
団体名：
役職・氏名：



関心表明書

2025年6月付で長久手市が指定管理者募集について公告した「長久手古戦場記念館」において、貴社から検討依頼のあった下記内容について、関心を持っていることを表明します。

貴社が本事業の指定管理者として選定された際には、内容について協議した上で、本事業が円滑に推進されるよう協力します。

記

1. 事業名 長久手古戦場記念館（以下：本施設）
2. 事業場所 本施設のほか、両社が合意した場所
3. 内 容 長久手古戦場を含めた中世日本史に関する講演、集客等の施策への協力・連携

以上

7年 5月 30日

株式会社トヨタエンタプライズ 御中

所在地：
団体名：
役職・氏名：



関心表明書

2025年6月付で長久手市が指定管理者募集について公告した「長久手古戦場記念館」において、貴社から検討依頼のあった下記内容について、関心を持っていることを表明します。

貴社が本事業の指定管理者として選定された際には、内容について協議した上で、本事業が円滑に推進されるよう協力します。

記

1. 事業名 長久手古戦場記念館（以下：本施設）
2. 事業場所 本施設のほか、両社が合意した場所
3. 内容 長久手古戦場を含めた中世日本史に関する講演、集客等の施策への協力・連携

以上

7年5月30日

株式会社トヨタエンタプライズ 御中

所在地：
団体名：
役職・氏名：

関心表明書

2025年6月付で長久手市が指定管理者募集について公告した「長久手古戦場記念館」において、貴社から検討依頼のあった下記内容について、関心を持っていることを表明します。

貴社が本事業の指定管理者として選定された際には、内容について協議した上で、本事業が円滑に推進されるよう協力します。

記

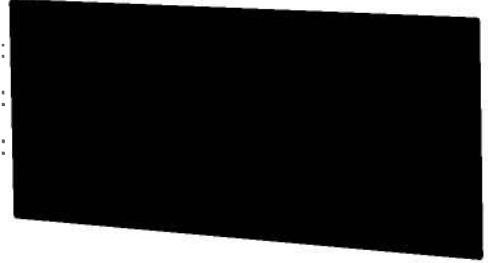
1. 事業名 長久手古戦場記念館（以下：本施設）
2. 事業場所 本施設のほか、両社が合意した場所
3. 内容 長久手古戦場を含めた中世日本史に関する講演、集客等の施策への協力・連携

以上

2025年6月4日

株式会社トヨタエンタプライズ 御中

所在地：
団体名：
役職・氏名：



関心表明書

2025年6月付で長久手市が指定管理者募集について公告した「長久手古戦場記念館」において、貴社から検討依頼のあった下記内容について、関心を持っていることを表明します。

貴社が本事業の指定管理者として選定された際には、内容について協議した上で、本事業が円滑に推進されるよう協力します。

記

1. 事業名 長久手古戦場記念館（以下：本施設）
2. 事業場所 本施設のほか、両社が合意した場所
3. 内 容 長久手古戦場を含めた中世日本史に関する講演、集客等の施策への協力・連携

以上

2025年6月29日

株式会社トヨタエンタプライズ 御中

所在地：
団体名：
役職・氏名：

関心表明書

2025年6月付で長久手市が指定管理者募集について公告した「長久手古戦場記念館」において、貴社から検討依頼のあった下記内容について、関心を持っていることを表明します。

貴社が本事業の指定管理者として選定された際には、内容について協議した上で、本事業が円滑に推進されるよう協力します。

記

1. 事業名 長久手古戦場記念館（以下：本施設）
2. 事業場所 本施設のほか、両社が合意した場所
3. 内容 長久手古戦場を含めた中世日本史に関する講演、集客等の施策への協力・連携

以上

令和7年6月5日

株式会社トヨタエンタプライズ 御中

所在地：
団体名：
役職・氏名：

関心表明書

2025年6月付で長久手市が指定管理者募集について公告した「長久手古戦場記念館」において、貴社から検討依頼のあった下記内容について、関心を持っていることを表明します。

貴社が本事業の指定管理者として選定された際には、内容について協議した上で、本事業が円滑に推進されるよう協力します。

記

1. 事業名 長久手古戦場記念館（以下：本施設）
2. 事業場所 本施設のほか、両社が合意した場所
3. 内容 長久手古戦場を含めた中世日本史に関する講演、集客等の施策への協力・連携

以上

令和7年6月5日

株式会社トヨタエンタプライズ 御中

所在地：
団体名：
役職・氏名：

関心表明書

2025年6月付で長久手市が指定管理者募集について公告した「長久手古戦場記念館」において、貴社から検討依頼のあった下記内容について、関心を持っていることを表明します。

貴社が本事業の指定管理者として選定された際には、内容について協議した上で、本事業が円滑に推進されるよう協力します。

記

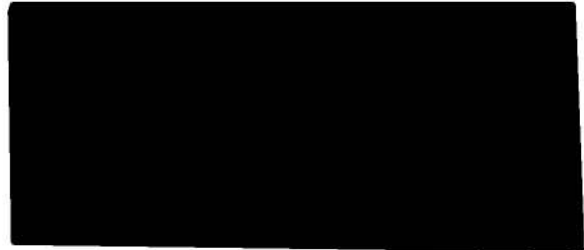
1. 事業名 長久手古戦場記念館（以下：本施設）
2. 事業場所 本施設のほか、両社が合意した場所
3. 内 容 長久手古戦場を含めた中世日本史に関する講演、集客等の施策への協力・連携

以上

令和7年6月9日

株式会社トヨタエンタプライズ 御中

所在地：
団体名：
役職・氏名：



関心表明書

2025年6月付で長久手市が指定管理者募集について公告した「長久手古戦場記念館」において、貴社から検討依頼のあった下記内容について、関心を持っていることを表明します。

貴社が本事業の指定管理者として選定された際には、内容について協議した上で、本事業が円滑に推進されるよう協力します。

記

- 事業名 長久手古戦場記念館（以下：本施設）
- 事業場所 本施設のほか、両社が合意した場所
- 内容 長久手古戦場を含めた中世日本史に関する史跡・文化財等の保護及びその歴史的価値を高め、学術及び文化の発展に資する、企画展示、講演、集客、調査研究等の事業への協力・連携

以上

2025 年 6 月 2 日

株式会社トヨタエンタプライズ 御中

所在地：
団体名：
役職・氏名：

関心表明書

2025 年 6 月付で長久手市が指定管理者募集について公告した「長久手古戦場記念館」において、貴社から検討依頼のあった下記内容について、関心を持っていることを表明します。

貴社が本事業の指定管理者として選定された際には、内容について協議した上で、本事業が円滑に推進されるよう協力します。

記

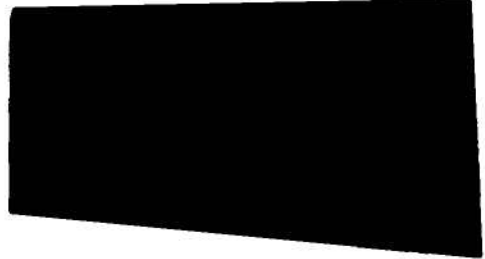
1. 事業名 長久手古戦場記念館（以下：本施設）
2. 事業場所 本施設のほか、両社が合意した場所
3. 内 容 長久手古戦場を含めた中世日本史に関する講演、集客等の施策への協力・連携

以上

令和7年6月17日

株式会社トヨタエンタプライズ 御中

所在地
団体名
役職・氏名



関心表明書

2025年6月付で長久手市が指定管理者募集について公告した「長久手古戦場記念館」において、貴社から検討依頼のあった下記内容について、関心を持っていることを表明します。

貴社が本事業の指定管理者として選定された際には、内容について協議した上で、本事業が円滑に推進されるよう協力します。

記

1. 事業名 長久手古戦場記念館（以下：本施設）
2. 事業場所 本施設のほか、両社が合意した場所
3. 内 容 長久手古戦場を含めた中世日本史に関する講演、集客等の施策への協力・連携

以上

令和7年6月3日

株式会社トヨタエンタプライズ 御中

所在地：
団体名：
役職・氏名：



関心表明書

2025年6月付で長久手市が指定管理者募集について公告した「長久手古戦場記念館」において、貴社から検討依頼のあった下記内容について、関心を持っていることを表明します。

貴社が本事業の指定管理者として選定された際には、内容について協議した上で、本事業が円滑に推進されるよう協力します。

記

1. 事業名 長久手古戦場記念館（以下：本施設）
2. 事業場所 本施設のほか、両社が合意した場所
3. 内 容 長久手古戦場を含めた中世日本史に関する講演、集客等の施策への協力・連携

以上

令和7年6月12日

株式会社トヨタエンタプライズ 御中

所在地：
団体名：
役職・氏名：

関心表明書

2025年6月付で長久手市が指定管理者募集について公告した「長久手古戦場記念館」において、貴社から検討依頼のあった下記内容について、関心を持っていることを表明します。

貴社が本事業の指定管理者として選定された際には、内容について協議した上で、本事業が円滑に推進されるよう協力します。

記

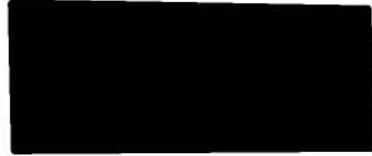
1. 事業名 長久手古戦場記念館（以下：本施設）
2. 事業場所 本施設のほか、両社が合意した場所
3. 内容 長久手古戦場を含めた中世日本史に関する講演、集客等の施策への協力・連携

以上

令和7年6月18日

株式会社トヨタエンタプライズ 御中

所在地：
団体名：
役職・氏名：



関心表明書

2025年6月付で長久手市が指定管理者募集について公告した「長久手古戦場記念館」において、貴社から検討依頼のあった下記内容について、関心を持っていることを表明します。

貴社が本事業の指定管理者として選定された際には、内容について協議した上で、本事業が円滑に推進されるよう協力します。

記

1. 事業名 長久手古戦場記念館（以下：本施設）
2. 事業場所 本施設のほか、両社が合意した場所
3. 内 容 長久手古戦場を含めた中世日本史に関する講演、集客等の施策への協力・連携

以上

令和7年 6月 19日

株式会社トヨタエンタプライズ 御中

所在地 :
団体名 :
役職・氏名 :



関心表明書

2025年6月付で長久手市が指定管理者募集について公告した「長久手古戦場記念館」において、貴社から検討依頼のあった下記内容について、関心を持っていることを表明します。

貴社が本事業の指定管理者として選定された際には、内容について協議した上で、本事業が円滑に推進されるよう協力します。

記

1. 事業名 長久手古戦場記念館（以下：本施設）
2. 事業場所 本施設のほか、両社が合意した場所
3. 内 容
 - ・本施設における展示品及び収蔵品の展示／保管等に関する助言・サポート
 - ・文化施設特有の設備・機器の不具合等に関する助言・サポート

以上

2025年6月17日

株式会社トヨタエンタプライズ 御中

所在地：
団体名：
役職・氏名：

関心表明書

2025年6月付で長久手市が指定管理者募集について公告した「長久手古戦場記念館」において、貴社から検討依頼のあった下記内容について、関心を持っていることを表明します。

貴社が本事業の指定管理者として選定された際には、内容について協議した上で、本事業が円滑に推進されるよう協力します。

記

1. 事業名 長久手古戦場記念館（以下：本施設）
2. 事業場所 本施設のほか、両社が合意した場所
3. 内 容 長久手古戦場を含めた中世日本史に関する講演、集客等の施策への協力・連携

以上

2025年6月11日

株式会社トヨタエンタプライズ 御中

所在地：
団体名：
役職・氏名：

関心表明書

2025年6月付で長久手市が指定管理者募集について公告した「長久手古戦場記念館」において、貴社から検討依頼のあった下記内容について、関心を持っていることを表明します。

貴社が本事業の指定管理者として選定された際には、内容について協議した上で、本事業が円滑に推進されるよう協力します。

記

1. 事業名 長久手古戦場記念館（以下：本施設）
2. 事業場所 本施設のほか、両社が合意した場所
3. 内 容 長久手古戦場を含めた中世日本史に関する講演、集客等の施策への協力・連携

以上

7年6月6日

株式会社トヨタエンタプライズ 御中

所在地：
団体名：
役職・氏名：

関心表明書

2025年6月付で長久手市が指定管理者募集について公告した「長久手古戦場記念館」において、貴社から検討依頼のあった下記内容について、関心を持っていることを表明します。

貴社が本事業の指定管理者として選定された際には、内容について協議した上で、本事業が円滑に推進されるよう協力します。

記

1. 事業名 長久手古戦場記念館（以下：本施設）
2. 事業場所 本施設のほか、両社が合意した場所
3. 内 容 長久手古戦場を含めた中世日本史に関する講演、集客等の施策への協力・連携

以上

25年6月/0日

株式会社トヨタエンタプライズ 御中

所在地：
団体名：
役職・氏名：

関心表明書

2025年6月付で長久手市が指定管理者募集について公告した「長久手古戦場記念館」において、貴社から検討依頼のあった下記内容について、関心を持っていることを表明します。

貴社が本事業の指定管理者として選定された際には、内容について協議した上で、本事業が円滑に推進されるよう協力します。

記

1. 事業名 長久手古戦場記念館（以下：本施設）
2. 事業場所 本施設のほか、両社が合意した場所
3. 内容 長久手古戦場を含めた中世日本史に関する講演、集客等の施策への協力・連携

以上

2025年6月20日

株式会社トヨタエンタプライズ 御中

所在地：
団体名：
役職・氏名：

関心表明書

2025年6月付で長久手市が指定管理者募集について公告した「長久手古戦場記念館」において、貴社から検討依頼のあった下記内容について、関心を持っていることを表明します。

貴社が本事業の指定管理者として選定された際には、内容について協議した上で、本事業が円滑に推進されるよう協力します。

記

1. 事業名 長久手古戦場記念館（以下：本施設）
2. 事業場所 本施設のほか、両社が合意した場所
3. 内容 長久手古戦場を含めた中世日本史に関する講演、集客等の施策への協力・連携

以上

令和7年6月2日

株式会社トヨタエンタプライズ 御中

所在地：
団体名：
役職・氏名：

関心表明書

2025年6月付で長久手市が指定管理者募集について公告した「長久手古戦場記念館」において、貴社から検討依頼のあった下記内容について、関心を持っていることを表明します。

貴社が本事業の指定管理者として選定された際には、内容について協議した上で、本事業が円滑に推進されるよう協力します。

記

1. 事業名 長久手古戦場記念館（以下：本施設）
2. 事業場所 本施設のほか、両社が合意した場所
3. 内容 長久手古戦場を含めた中世日本史に関する講演、集客等の施策への協力・連携

以上

2025年 6月 8日

株式会社トヨタエンタプライズ 御中

所在地：
団体名：
役職・氏名：

関心表明書

2025年6月付で長久手市が指定管理者募集について公告した「長久手古戦場記念館」において、貴社から検討依頼のあった下記内容について、関心を持っていることを表明します。

貴社が本事業の指定管理者として選定された際には、内容について協議した上で、本事業が円滑に推進されるよう協力します。

記

1. 事業名 長久手古戦場記念館（以下：本施設）
2. 事業場所 本施設のほか、両社が合意した場所
3. 内 容 長久手古戦場を含めた中世日本史に関する講演、集客等の施策への協力・連携

以上

2025 年 6 月 17 日

株式会社トヨタエンタプライズ 御中

所在地：
団体名：
役職・氏名：

関心表明書

2025 年 6 月付で長久手市が指定管理者募集について公告した「長久手古戦場記念館」において、貴社から検討依頼のあった下記内容について、関心を持っていることを表明します。

貴社が本事業の指定管理者として選定された際には、内容について協議した上で、本事業が円滑に推進されるよう協力します。

記

1. 事業名 長久手古戦場記念館（以下：本施設）
2. 事業場所 本施設のほか、両社が合意した場所
3. 内 容 長久手古戦場を含めた中世日本史に関する講演、集客等の施策への協力・連携

以上

2025年7月2日

株式会社トヨタエンタプライズ 御中

所在地：
団体名：
役職・氏名：

関心表明書

2025年6月付で長久手市が指定管理者募集について公告した「長久手古戦場記念館」において、貴社から検討依頼のあった下記内容について、関心を持っていることを表明します。

貴社が本事業の指定管理者として選定された際には、内容について協議した上で、本事業が円滑に推進されるよう協力します。

記

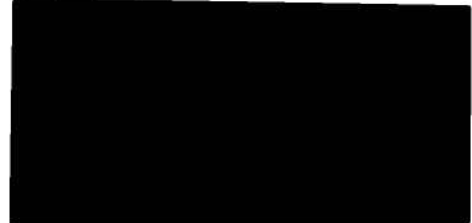
1. 事業名 長久手古戦場記念館（以下：本施設）
2. 事業場所 本施設のほか、両社が合意した場所
3. 内 容 長久手古戦場を含めた中世日本史に関する講演、集客等の施策への協力・連携

以上

2025 年 6 月 6 日

株式会社トヨタエンタプライズ 御中

所在地：
団体名：
役職・氏名：



関心表明書

2025 年 6 月付で長久手市が指定管理者募集について公告した「長久手古戦場記念館」において、貴社から検討依頼のあった下記内容について、関心を持っていることを表明します。

貴社が本事業の指定管理者として選定された際には、内容について協議した上で、本事業が円滑に推進されるよう協力します。

記

1. 事業名 長久手古戦場記念館（以下：本施設）
2. 事業場所 本施設のほか、両社が合意した場所
3. 内 容 長久手古戦場を含めた中世日本史に関する講演、集客等の施策への協力・連携

以上

2025 年 6 月 16 日

株式会社トヨタエンタプライズ 御中

所在地 :
団体名 :
役職・氏名 :

関心表明書

2025 年 6 月付で長久手市が指定管理者募集について公告した「長久手古戦場記念館」において、貴社から検討依頼のあった下記内容について、関心を持っていることを表明します。

貴社が本事業の指定管理者として選定された際には、内容について協議した上で、本事業が円滑に推進されるよう協力します。

記

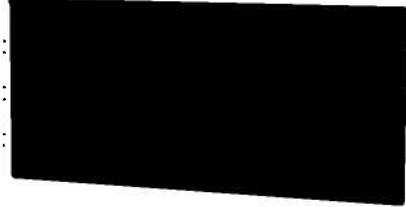
1. 事業名 長久手古戦場記念館（以下：本施設）
2. 事業場所 本施設のほか、両社が合意した場所
3. 内 容 長久手古戦場を含めた中世日本史に関する講演、集客等の施策への協力・連携

以上

2025年6月8日

株式会社トヨタエンタプライズ 御中

所在地：
団体名：
役職・氏名：



関心表明書

2025年6月付で長久手市が指定管理者募集について公告した「長久手古戦場記念館」において、貴社から検討依頼のあった下記内容について、関心を持っていることを表明します。

貴社が本事業の指定管理者として選定された際には、内容について協議した上で、本事業が円滑に推進されるよう協力します。

記

1. 事業名 長久手古戦場記念館（以下：本施設）
2. 事業場所 本施設のほか、両社が合意した場所
3. 内 容 長久手古戦場を含めた中世日本史に関する講演、集客等の施策への協力・連携

以上

2025年6月8日

株式会社トヨタエンタプライズ 御中

所在地：
団体名：
役職・氏名：

関心表明書

2025年6月付で長久手市が指定管理者募集について公告した「長久手古戦場記念館」において、貴社から検討依頼のあった下記内容について、関心を持っていることを表明します。

貴社が本事業の指定管理者として選定された際には、内容について協議した上で、本事業が円滑に推進されるよう協力します。

記

1. 事業名 長久手古戦場記念館（以下：本施設）
2. 事業場所 本施設のほか、両社が合意した場所
3. 内 容 長久手古戦場を含めた中世日本史に関する講演、集客等の施策への協力・連携

以上

2025年6月8日

株式会社トヨタエンタプライズ 御中

所在地：
団体名：
役職・氏名：

関心表明書

2025年6月付で長久手市が指定管理者募集について公告した「長久手古戦場記念館」において、貴社から検討依頼のあった下記内容について、関心を持っていることを表明します。

貴社が本事業の指定管理者として選定された際には、内容について協議した上で、本事業が円滑に推進されるよう協力します。

記

1. 事業名 長久手古戦場記念館（以下：本施設）
2. 事業場所 本施設のほか、両社が合意した場所
3. 内 容 長久手古戦場を含めた中世日本史に関する講演、集客等の施策への協力・連携

以上

2025年6月19日

株式会社トヨタエンタプライズ 御中

所在地：
団体名：
役職・氏名：

関心表明書

2025年6月付で長久手市が指定管理者募集について公告した「長久手古戦場記念館」において、貴社から検討依頼のあった下記内容について、関心を持っていることを表明します。

貴社が本事業の指定管理者として選定された際には、内容について協議した上で、本事業が円滑に推進されるよう協力します。

記

1. 事業名 長久手古戦場記念館（以下：本施設）
2. 事業場所 本施設のほか、両社が合意した場所
3. 内容 長久手古戦場を含めた中世日本史に関する講演、集客等の施策への協力・連携

以上

2025年6月22日

株式会社トヨタエンタプライズ 御中

所在地：
団体名：
役職・氏名：

関心表明書

2025年6月付で長久手市が指定管理者募集について公告した「長久手古戦場記念館」において、貴社から検討依頼のあった下記内容について、関心を持っていることを表明します。

貴社が本事業の指定管理者として選定された際には、内容について協議した上で、本事業が円滑に推進されるよう協力します。

記

1. 事業名 長久手古戦場記念館（以下：本施設）
2. 事業場所 本施設のほか、両社が合意した場所
3. 内容 長久手古戦場を含めた中世日本史に関する講演、集客等の施策への協力・連携

以上

2025年6月12日

株式会社トヨタエンタプライズ 御中

所在地：
団体名：
役職・氏名：



関心表明書

2025年6月付で長久手市が指定管理者募集について公告した「長久手古戦場記念館」において、貴社から検討依頼のあった下記内容について、関心を持っていることを表明します。

貴社が本事業の指定管理者として選定された際には、内容について協議した上で、本事業が円滑に推進されるよう協力します。

記

1. 事業名 長久手古戦場記念館（以下：本施設）
2. 事業場所 本施設のほか、両社が合意した場所
3. 内 容 長久手古戦場を含めた中世日本史に関する講演、集客等の施策への協力・連携

以上

令和7年6月11日

株式会社トヨタエンタプライズ 御中

所在地：
団体名：
役職・氏名：

関心表明書

2025年6月付で長久手市が指定管理者募集について公告した「長久手古戦場記念館」において、貴社から検討依頼のあった下記内容について、関心を持っていることを表明します。

貴社が本事業の指定管理者として選定された際には、内容について協議した上で、本事業が円滑に推進されるよう協力します。

記

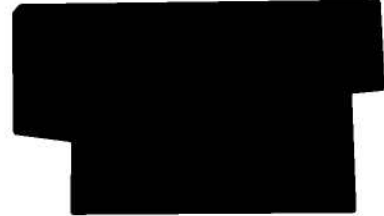
1. 事業名 長久手古戦場記念館（以下：本施設）
2. 事業場所 本施設のほか、両社が合意した場所
3. 内 容 長久手古戦場を含めた中世日本史に関する講演、集客等の施策への協力・連携

以上

2025年6月8日

株式会社トヨタエンタプライズ 御中

所在地：
団体名：
役職・氏名：



関心表明書

2025年6月付で長久手市が指定管理者募集について公告した「長久手古戦場記念館」において、貴社から検討依頼のあった下記内容について、関心を持っていることを表明します。

貴社が本事業の指定管理者として選定された際には、内容について協議した上で、本事業が円滑に推進されるよう協力します。

記

1. 事業名 長久手古戦場記念館（以下：本施設）
2. 事業場所 本施設のほか、両社が合意した場所
3. 内 容 長久手古戦場を含めた中世日本史に関する講演、集客等の施策への協力・連携

以上

2025年6月18日

株式会社トヨタエンタプライズ 御中

所在地：
団体名：
役職・氏名：

関心表明書

2025年6月付で長久手市が指定管理者募集について公告した「長久手古戦場記念館」において、貴社から検討依頼のあった下記内容について、関心を持っていることを表明します。

貴社が本事業の指定管理者として選定された際には、内容について協議した上で、本事業が円滑に推進されるよう協力します。

記

1. 事業名 長久手古戦場記念館（以下：本施設）
2. 事業場所 本施設のほか、両社が合意した場所
3. 内 容 長久手古戦場を含めた中世日本史に関する講演、集客等の施策への協力・連携

以上

令和7年6月19日

株式会社トヨタエンタプライズ 御中

所在地：
団体名：
役職・氏名：



関心表明書

2025年6月付で長久手市が指定管理者募集について公告した「長久手古戦場記念館」において、貴社から検討依頼のあった下記内容について、関心を持っていることを表明します。

貴社が本事業の指定管理者として選定された際には、内容について協議した上で、本事業が円滑に推進されるよう協力します。

記

1. 事業名 長久手古戦場記念館（以下：本施設）
2. 事業場所 本施設のほか、両社が合意した場所
3. 内 容 長久手古戦場を含めた中世日本史に関する講演、集客等の施策への協力・連携

以上

2025 年 6 月 18 日

株式会社トヨタエンタプライズ 御中

所在地：
団体名：
役職・氏名：

関心表明書

2025 年 6 月付で長久手市が指定管理者募集について公告した「長久手古戦場記念館」において、貴社から検討依頼のあった下記内容について、関心を持っていることを表明します。

貴社が本事業の指定管理者として選定された際には、内容について協議した上で、本事業が円滑に推進されるよう協力します。

記

1. 事業名 長久手古戦場記念館（以下：本施設）
2. 事業場所 本施設のほか、両社が合意した場所
3. 内 容 長久手古戦場を含めた中世日本史に関する講演、集客等の施策への協力・連携

以上

2025年6月18日

株式会社トヨタエンタプライズ 御中

所在地：
団体名：
役職・氏名：

関心表明書

2025年6月付で長久手市が指定管理者募集について公告した「長久手古戦場記念館」において、貴社から検討依頼のあった下記内容について、関心を持っていることを表明します。

貴社が本事業の指定管理者として選定された際には、内容について協議した上で、本事業が円滑に推進されるよう協力します。

記

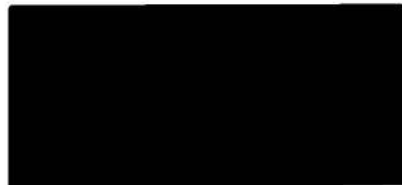
1. 事業名 長久手古戦場記念館（以下：本施設）
2. 事業場所 本施設のほか、両社が合意した場所
3. 内 容 長久手古戦場を含めた中世日本史に関する講演、集客等の施策への協力・連携

以上

令和7年 6月16日

株式会社トヨタエンタプライズ 御中

所在地：
団体名：
役職・氏名：



関心表明書

2025年6月付で長久手市が指定管理者募集について公告した「長久手古戦場記念館」において、貴社から検討依頼のあった下記内容について、関心を持っていることを表明します。

貴社が本事業の指定管理者として選定された際には、内容について協議した上で、本事業が円滑に推進されるよう協力します。

記

1. 事業名 長久手古戦場記念館（以下：本施設）
2. 事業場所 本施設のほか、両社が合意した場所
3. 内 容 長久手古戦場を含めた中世日本史に関する講演、集客等の施策への協力・連携

以上

令和7年6月19日

株式会社トヨタエンタプライズ 御中

所在地：
団体名：
役職・氏名：

関心表明書

2025年6月付で長久手市が指定管理者募集について公告した「長久手古戦場記念館」において、貴社から検討依頼のあった下記内容について、関心を持っていることを表明します。

貴社が本事業の指定管理者として選定された際には、内容について協議した上で、本事業が円滑に推進されるよう協力します。

記

1. 事業名 長久手古戦場記念館（以下：本施設）
2. 事業場所 本施設のほか、両社が合意した場所
3. 内容 長久手古戦場を含めた中世日本史に関する講演、集客等の施策への協力・連携

以上

令和7年6月19日

株式会社トヨタエンタプライズ 御中

所在地：
団体名：
役職・氏名：



関心表明書

2025年6月付で長久手市が指定管理者募集について公告した「長久手古戦場記念館」において、貴社から検討依頼のあった下記内容について、関心を持っていることを表明します。

貴社が本事業の指定管理者として選定された際には、内容について協議した上で、本事業が円滑に推進されるよう協力します。

記

1. 事業名 長久手古戦場記念館（以下：本施設）
2. 事業場所 本施設のほか、両社が合意した場所
3. 内 容 長久手古戦場を含めた中世日本史に関する講演、集客等の施策への協力・連携

以上

2025年6月14日

株式会社トヨタエンタプライズ 御中

所在地：
団体名：
役職・氏名：

関心表明書

2025年6月付で長久手市が指定管理者募集について公告した「長久手古戦場記念館」において、貴社から検討依頼のあった下記内容について、関心を持っていることを表明します。

貴社が本事業の指定管理者として選定された際には、内容について協議した上で、本事業が円滑に推進されるよう協力します。

記

1. 事業名 長久手古戦場記念館（以下：本施設）
2. 事業場所 本施設のほか、両社が合意した場所
3. 内 容 長久手古戦場を含めた中世日本史に関する講演、集客等の施策への協力・連携

以上

2025年6月19日

株式会社トヨタエンタプライズ 御中

所在地：
団体名：
役職・氏名：

関心表明書

2025年6月付で長久手市が指定管理者募集について公告した「長久手古戦場記念館」において、貴社から検討依頼のあった下記内容について、関心を持っていることを表明します。

貴社が本事業の指定管理者として選定された際には、内容について協議した上で、本事業が円滑に推進されるよう協力します。

記

1. 事業名 長久手古戦場記念館（以下：本施設）
2. 事業場所 本施設のほか、両社が合意した場所
3. 内 容 長久手古戦場を含めた中世日本史に関する講演、集客等の施策への協力・連携

以上